**TECHNICAL GUIDE: CA ARCSERVE BACKUP R16.5** 

# CA ARCserve® Backup for Windows

# DATA DOMAIN を利用した バックアップ&リカバリ手順

Rev: 1.1

2013年11月





すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

本ガイドは情報提供のみを目的としています。CAは本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。CAは、該当する法律が許す範囲で、いか なる種類の保証(商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます(ただし、これに限定されません))も伴わずに、このドキュメ ントを「現状有姿で」提供します。CAは、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など(ただし、これに限定されません)、このドキュ メントに関連する直接損害または間接損害については、CAがその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。

Copyright © 2013 CA and / or one of its subsidiaries. All rights reserved.

# 目次

1.	はじめに	1
1.	1 ARCserve Backup について	1
1.	2 ディザスタ・リカバリ	1
2.	DATA DOMAIN でのバックアップ準備	2
2.	1 CIFS 共有フォルダの作成	2
2.	2 リカバリサイトへの複製設定	3
3.	ARCSERVE BACKUP での準備作業	4
3.	1 DATA DOMAIN へのバックアップ先設定	4
3.	2 惨事復旧情報の複製設定	7
3.	3 Client Agent の登録	9
4.	ARCSERVE BACKUP のバックアップ設定1	0
4.	1 フルバックアップのスケジュール作成1	0
4.	2 増分バックアップのスケジュール作成1	4
5.	復旧メディアの準備1	7
5.	1 Windows ADK (Windows AIK)の入手	7
5.	2 Windows ADK (Windows AIK) のインストール1	7
5.	3 DISASTER RECOVERY OPTION の復旧メディア作成1	8
6.	リカバリサイトでの惨事復旧2	3
6.	1   復旧準備	3
6.	2 バックアップ サーバの復旧処理2	4
6.	3 ネットワーク上のマシン (リモート マシン) の復旧処理4	4
6.	4 全マシン復旧後の処理5	1
7.	障害サイト復旧時の処理	4

7.1	移行用の復旧データ作成	54
7.2	元サイトへの復旧準備	56
7.3	元サイトでバックアップサーバの復旧処理	57
7.4	元サイトでネットワーク上のマシン (リモートマシン) の復旧処理	67
7.5	元サイトで全マシン復旧後の処理	69
7.6	DATA DOMAIN の複製処理	71
8. 製,	品情報と無償トレーニング情報	71
8.1	製品情報	71
8.2	トレーニング情報	71

# 1. はじめに

本ガイド は、CA ARCserve Backup r16.5 for Windows (以降: ARCserve Backup) のバックアップ データを EMC 社製 DATA DOMAIN に保存し、ARCserve Backup の Disaster Recovery Option の機能でリカバリ サイトの DATA DOMAIN に複製したバックアップ データからの復旧手順を記載したテクニカル ガイドになります。(複製は DATA DOMAIN の Replication 機能を利用します。)

## 1.1 ARCserve Backup について

20 年以上の実績を持つ ARCserve Backup は、1 台のサーバから大規模な環境まで、多様なビジネスシーンで活用できます。使いやすい日本語ユーザインターフェイスを備え、ディスクからディスク、ディスクからテープへのバック アップはもちろん、多様なバックアップ/リストア機能を標準で搭載したソフトウェアです。さらに災害対策として注目度 の高いクラウドへのデータ保護や、データの肥大化対策である重複排除機能、データ漏えい防止策の1つである暗号 化など拡張性に優れた機能を標準で備えています。

## 1.2 ディザスタ・リカバリ

ディザスタ・リカバリは災害時におけるシステムやデータの復旧や予防措置を意味します。ARCserve Backup では Disaster Recovery Option を利用することで、障害が発生したマシンを簡単に復旧できます。また DATA DOMAIN の Replication 機能を用いることで、バックアップデータを遠隔地に保管できるため、火災や自然災害などでサイト全体 に障害が発生しても、リカバリサイトでマシンを復元できます。



# 2. DATA DOMAIN でのバックアップ準備

バックアップ先として利用する自サイト内の DATA DOMAIN で CIFS の共有フォルダを作成し、リカバリサイトにある DATA DOMAIN への複製を設定します。

## 2.1 CIFS 共有フォルダの作成

DATA DOMAIN はデフォルトで backup という共有フォルダを作成します。 backup フォルダをそのまま利用することも できますが、本ガイドでは新しい共有フォルダを作成します。

2.1.1 共有元となるフォルダ作成

共有フォルダにアクセスする要領で、ARCserve Backup 本体製品を導入するノードから自サイト内にある DATA DOMAINのIP アドレス(指定方法は ¥¥と DATA DOMAINのIP アドレスのみ)を指定し DATA DOMAIN の sysadmin 権限でログオンします。

共有の backup フォルダが表示されたら、backup フォルダの中に新しいフォルダを作成します。(本ガイドでは backup フォルダの下に "arcserve" フォルダを作成します。)

また Disaster Recovery Option で利用する惨事復旧情報のコピー先フォルダを作成します。(本ガイドでは作成した arcserve フォルダの下に "MSD" フォルダを作成します。)

#### 2.1.2 <u>共有設定</u>

ブラウザで DATA DOMAIN にアクセスし、Data Management メニューから Shares タブをクリックし、[Create] をクリックします。 作成した arcserve フォルダと MSD フォルダに共有を設定します。

🗿 Enterprise Manager – Wind	ows Internet Explorer					_ 🗆 ×
🗲 🕘 🗢 🔝 http://192.168.10	0.231/ddem/			💌 🔄 🗙 🔎 Bing		P -
≿ お気に入り 🛛 👍 🙋 おすすめた	サイト・ 🙋 Web スライス ギャ	2 <del>5</del> U− •				
🔝 Enterprise Manager				🚹 • 🗟 - 🖃 🖶 • ぺージ(P	?)・ セーフティ(S)・ ツール(	0)• 🔞•
datadoma	Managemen	t Station: 192.168.10.231		sysadmin 💣 L	Log Out 🏾 🚱 Refresh 📍	P Help
Enterprise Mana	ger 👝 dd1.loca	aldomain OS: 5.1.1.0-291	18 Model: DD160			
Add 💥 Remove	Status Da Create Share	ta Management Reni	cation Hardware	System Settings		
DD Network	Share Name:	arcserve		System:dd1.localdomain		
GIF dd2.localdomain	FS Directory Path:	/backup/arcserve				
Con	Comment:					
0	pe Clients		Ontion			
			Max Connections:			
			<ul> <li>Unlimited</li> </ul>			
C						
Filt	tei		-		Update Reset	
	1					
Iter	ms				of 1 📧 🔹 🕨 😣	
De	ta					
	2			OK Cancel		
	No Shares sele	ected Select one Share	to see Detailed Inform	ation		
Task Log						
				√ 信頼済みサイト   保護モード: 無外	አ  ጭ- ዲ	100% -

## 2.1.3 共有フォルダへのアクセス確認

設定した共有フォルダ (<u>¥¥Data Domain の IP アドレス¥arcserve</u>、および <u>¥¥Data Domain の IP アドレス¥MSD</u>) にアクセスできるか、ARCserve Backup 本体製品を導入するノードから確認します。

#### 2.1.4 フォルダ作成

設定した共有フォルダ (¥¥Data Domain の IP アドレス¥arcserve) にバックアップ先のフォルダを作成します。 本ガイドでは、ファイル システム デバイスを 2 つ利用するため、2 つのフォルダを追加作成します。(MSD フォ ルダは前述ステップで作成済みです。)





DATA DOMAIN に作成した複数のファイル システム デバイスで並列処理 (同時バックアップ処理 や、バックアップ/リストアの同時実行など)を行う場合は、前述 2.1.2 の方法で各ファイル システム デバイスのフォルダに共有を設定します。

## 2.2 リカバリサイトへの複製設定

## 2.2.1 複製先フォルダの作成

リカバリサイトに接続可能なノードからリカバリサイトにある DATA DOMAIN の IP アドレス (指定方法は ¥¥とリカバ リサイトの DATA DOMAIN の IP アドレスのみ)を指定し、DATA DOMAIN の sysadmin 権限でログオンします。

共有の backup フォルダが表示されたら、backup フォルダの中に複製先となる新しいフォルダを作成します。 (本ガイドでは backup フォルダの下に "replica" フォルダを作成します。)

#### 2.2.2 複製設定

ブラウザで DATA DOMAIN にアクセスし、Replication メニューにある [Create Pair] をクリックします。自サイト内の DATA DOMAIN バックアップ先フォルダ (arcserve フォルダ) をリカバリサイトの複製先フォルダ (replica フォルダ) に Replication 設定を行います。MSD フォルダが arcserve フォルダの下に存在しない場合は、MSD フォルダの複製も設定します。

🔏 Enterprise Manager – Windows Int	ernet Explorer		_D×
😋 🕤 🗢 🔝 http://192.168.10.231/dd	em/	💌 🄄 🗶 👂 Bing	<b>₽</b> ▼
🏫 お気に入り 🛛 🏫 🙋 おすすめサイト・ 🕯	❷ Web スライス ギャラリー・		
🔝 Enterprise Manager		👌 • 🔊 - 🗉 🖶 •	ページ(P)・ セーフティ(S)・ ツール(O)・ 🕢・
	Management Station: 192.168.10.231 dd1.localdomain OS: 5.1.1.0-291218 US Data Management Replicat	sysadm Model: DD160 tion Hardware System Sett	in \mu Log Out 🌀 Refresh 🥐 Help ings Maintenance 🎽
Penlication	Create Pair		
dd2.bcst0mm     dd2.bcst0mm     dd2.bcst0mm     filter By:         Sourceste         Sourceste	General Advanced Select Replication Type, Source and Destination sys Path should either exist and be empty or not exist. Replication Type: Directory Replication Details Source System difficational Source Path: /backup/arcserve Source System Details: Total Disk Space: 9.9 GiB Used Disk Space: 9.9 GiB Encryption At Rest Not licensed	System.dd1.Jocatdomai tems. Source Path should be valid, Destination Destination System: dd2.locatdomain Destination Path: /backup/replica Destination System Details: Total Disk Space: 15.20.0 GIB Used Disk Space: 10.0 GIB Encryption Af Rest: Not licensed	th found K K S S
N	2	OK Cancel	Information.
Reports			
ページが表示されました			モード 無効 🤹 🔍 100% ・

#### 2.2.3 データ複製の確認

複製が完了したら、リカバリサイトに作成したフォルダが複製されているか確認します。

## 3. ARCserve Backup での準備作業

まずバックアップ サーバに ARCserve Backup の本体製品 (ベース製品、マネージャ、Client Agent for Windows など) と Disaster Recovery Option を導入します。 ネットワーク上のマシンには Client Agent for Windows を導入します。

バックアップ スケジュール作成前に、DATA DOMAIN へのバックアップ先設定と Disaster Recovery Option の惨事復旧 情報の複製設定を行います。(惨事復旧情報の複製設定は ARCserve Backup の導入中にも設定できます。)

## 3.1 DATA DOMAIN へのバックアップ先設定

ARCserve Backup では、ハードディスクへのバックアップとして、ファイル システム デバイスとデータ デデュプリケーション デバイスがあります。ファイル システム デバイスはテープと同じ形式でハードディスクにバックアップ データを書き込みます。 データ デデュプリケーション デバイスは重複排除を行いながらバックアップ データを書き込みます。

本ガイドでは、DATA DOMAIN の重複排除機能を利用するため、ARCserve Backup の重複排除機能は利用しません。 ファイル システム デバイスを作成し、データの保管場所として DATA DOMAIN の共有フォルダを指定します。

3.1.1 <u>デバイス管理画面の起動</u>

ファイル システム デバイスを作成するため、デバイス管理画面を開きます。

(ア) ARCSERVE BACKUP マネージャの起動

バックアップ サーバに導入した ARCserve Backup のマネージャ画面を起動します。(マネージャ画面は [スタート] メニューから [CA] – [CA ARCserve Backup] – [マネージャ] と辿っていくと起動できます。)

ARCserve Backup の管理者アカウント (caroot など) でログオンします。

デフォルト サーバ情報			×
デフォルトとなる CA ARCserve Ba	ickup サーバを選択	します。	
CA ARCeerve Backup KN/1/2	. Ictr	2014/004	
on mosci ve backap ( ),( ),2	· jair	(G14304	
CA ARCserve Backup プライマリ	サー/ヾ(S): 🛛 🗾	STRG14304	•
- セキュリティ情報			
認証の種類(A):	CA ARCserve B	ackup 🔝 📰	-
ユーザ名(U):	caroot		
パスワード(P):	*****		
□ 現在の Windows ユーザと	してログイン(L)		4
□ この情報を保存する(R)		1. Sec. 1. Sec	
C	K(O) キャ	シセル(C)	

(イ) デバイス管理画面の起動

ARCserve Backup のマネージャの右側にある青いバーで [管理] をクリックし、展開されたメニューから [デバイス マネージャ] をクリックします。



## 3.1.2 ファイル システム デバイスの作成

DATA DOMAIN によってバックアップ データの重複排除が実施されるため、書込み容量は小さくなりますが、1 つのバックアップ先に書き続けていくと容量が不足するため、ファイル システム デバイスを複数作成し、バックアップ スケジュールの設定で古いデータを自動的に削除します。

本ガイドでは2つのファイル システム デバイスを作成します。

(ア) ディスクベース デバイスの管理画面の起動

デバイス管理画面上部のツールボタンから、[ディスクベース...]をクリックします。

🔜 CA ARC (家) ファイル(	<b>Serve Backup - [デ</b> 』 F) クイック スタート(Q)	バイス管理 表示(V)	] デバイス(I	) ウィン	ドウ(W) ヘルプ(	H)							_ 8 ×
> → ナビゲーション	514304	ॐव7 ⊘	<del>7</del> -7 ⊘	DH	ショウラウド接続	クラウド ベース.	<b>ジ</b> ィスクベース_ このビニ	デバイス グル デバイス グル ユーで表示するフ	グループ プロ マイテムはありま1	<mark>ゆうウド フォル…</mark> さん	<b>通</b> スキャン	7#-79h	»

(イ) 1つ目のファイル システム デバイスの追加

Windows ファイル システム デバイスが選択された状態で [追加] ボタンをクリックしします。追加された FSD1 の行で [データ ファイルの場所] に自サイトの DATA DOMAIN の共有フォルダ (共有フォルダに作 成した fsd1 フォルダまで)を指定します。(¥¥自サイトの DATA DOMAIN の IP アドレス¥arcserve¥fsd1)

ディブ	しり ベース デバイ	ス環境設定くSTI	RG14304>				×
	ディスク ベース デバ	H7:			削除(R)		IJティ(S)
[	デバイス名	詳細	データファイルの場所	インデックス ファイル。	グループ名	テープ名	ポリューム サイス
	- Windows 7:	ァイル システム デ	512				
	🥜 FSD1	説明 1	¥¥192.168.10.231¥arcserve¥fsd1	•			
	🗆 デデュプリケー	ション デバイス					
l	•						
				< 戻る(8)	〉次へ(N) >	キャンセル(C)	ヘルプ(H)

DATA DOMAIN への認証が必要になるため、FSD1 の行が選択されている状態で、[セキュリティ] ボタン をクリックします。 ARCserve システム アカウントを使用] のチェックを外し、DATA DOMAIN のアカウント情 報を指定後に [OK] をクリックします。 ユーザ名: 自サイトの DATA DOMAIN の sysadmin アカウント ドメイン: 自サイトの DATA DOMAIN の IP アドレス パスワード: sysadmin のパスワード

ディフカ べっ	-7 デバ	イフ環境設定/STRG1/90/S

リイスタ ハース リカイス 準視設定	.\31NG14304/			<u>ے</u>
ディスク ベース デバイス: デバイス名 詳細 回 Windows ファイル システ	<mark>セキュリティ</mark> ファイル システム デバイ	i音カm(A) ( スのアクセス アカウントを指定します。	jillû金(R) ▲	セキュリティ(S)   ?名 ボリューム サイフ
😢 FSD1 説明 1 ⊡ デデュプリケーション デバイ	🥅 AROserve システム アカウ	ントを使用(A) (デフォルト)		
	ユーザ名(U):	sysadmin		
	ドメイン(D):	192.168.10.231		
	パスワード(P):	kolokokokok		
	パスワードの確認(N):	kolokokokok		
<u>د</u>	ОК	キャンセル		
		< 戻る(B) 3	:/(N)>	2ル(C) ヘルプ(H)

**V** 

(ウ) 2つ目のファイル システム デバイスの追加

前述(イ)の手順を繰り返し、2 つ目のファイル システム デバイスを作成しますが、FSD2 の行の[データ ファイルの場所]にはもう1 つのファイル システム デバイス用のフォルダ名 (fsd2)を指定します。(¥¥自 サイトの DATA DOMAIN の IP アドレス¥arcserve¥fsd2)

2つ作成後に [次へ] をクリックし、確認画面で [完了] をクリックします。

くり ベース デバイ	(ス環境設定く	STRG14304>					2
ディスク ベース デノ	<b>й</b> д:		追加(A)			セキュリティ(S)	
デバイス名	詳細:	データファイルの場所	インデックス ファイル… !	ヴループ名	テーブ名	ボリューム サイ	C
😑 Windows 7	ァイル システム	デバイス					
🌍 FSD1	説明 1	¥¥192.168.10.231¥arcserve¥fsd1	F	PGRP0		1511.66 GB	
📀 FSD2	[見 <sup>1</sup> 月 2	¥¥192.168.10.231¥arcserve¥fsd2	F	PGRP1		1511.66 GB	
🖂 デデュプリケー	ーション デバイス	ξ					
•							•
				5A (N) \ ]	الاجلد لأحدثك	(c) 1 AU - 7(4	

3.1.3 デバイス グループ名の変更(任意)

ファイル システム デバイスを作成すると、ARCserve Backup は PGRP0, PGRP1,,,, というデバイス グループを自動 的に割り振ります。 デフォルトのデバイス グループ名のままでも構いませんが、 本ガイドではデバイス グループ名を 変更します。

デバイス グループをカスタマイズするには、デバイス管理画面上部のツールボタンから、[デバイス グル...]をクリックします。

	A ARCserve Backup - ファイル(F) クイック スタート(の	<b>「デバイス管理</b> Q) 表示(V)	】] デバイス()	) ウィン	ドウ(W) ヘルプ(	H)					_	8×
» ナビゲーション	STRG14304	v <b>⊘</b>	<del>7</del> -7	DH	ショウラウド接続	050F K-2_ 7+20 K-2_ 20H	デバイス グル デバイス グル	ブルーフ ブロ イテムはありまt	<b>2</b> 5ウド フォル <i>た</i> ん	27442 27442	7#-79h	>>

ファイル システム デバイスを作成すると、ARCserve Backup は PGRP0, PGRP1,,,, というデバイス グループを自動 的に割り振ります。 デバイス グループをカスタマイズするには、 デバイス管理画面上部のツールボタンから、 [デバイ ス グル...] をクリックします。

デフォルトのデバイス グループ名のままでも構いませんが	、本ガイドではデバイス グループ名を変更し、それ	ぃぞれ
DD1とDD2に変更します。		

デバイス グループ環境設定〈STRG14304〉	<u>&gt;</u>
グループ(G):	利用可能なデバイス(V):
😑 🚘 FSD グループ	<<割り当て(A)
DD1	TUPA/AD NN
	月(IP元(IN) >>
✓ <テ バイス: 2> FSD2	
	新規(N)
	グループ名の変更(R)
	肖山B余(D)
OK(O)	キャンセル(C) ヘルフ(H)

## 3.2 惨事復旧情報の複製設定

Disaster Recovery Option で利用する惨事復旧情報はマシン単位で作成され、各マシンのパーティション情報や バックアップ データ情報など、復旧に必要な情報がバックアップ後に書きこまれます。惨事復旧情報はバックアッ プサーバ内のフォルダ (64bit OS の場合: C:¥Program Files (x86)¥CA¥ARCserve Backup¥DR) に保管されま すが、復旧時に必須となる情報のため、ARCserve Backup 側に複製機能が備わっています。

本ガイドでは、自サイトの DATA DOMAIN の共有フォルダを複製先に指定します。(複製先の設定は Disaster Recovery Option の導入プロセスの中でも設定できます。)

リカバリサイトにも惨事復旧情報が必要ですが、ARCserve Backup 側の複製先に自サイトの DATA DOMAIN を指定することで、DATA DOMAIN の Replication 機能によりリカバリサイトにも複製されます。

## 3.2.1 ブートキットウィザードの起動

ARCserve Backup のマネージャの右側にある青いバーで [ユーティリティ] をクリックし、展開されたメニューから [ブートキット ウィザード] をクリックします。

E C	A ARCserve Backup -	[木-ム]		_ 8 ×
🁧	ファイル(F) クイック スタート(	Q) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)		_ 8 ×
<b>»</b>	🗘 🔾 🔘 😂 🔮	}		
ナビゲーシ	AFC	erve BACKL	IP	technologies
E	デフォルト サーバとセ	キュリティ	クイックスタート	
5	FX472:	STRG14304	モニタとレポート	
1	デフォルト サーバ:	STRG14304	保護と回復	▼
	그는 ザ名:	caroot ஜ	·····································	•
	<u>デフォルト サーバまた</u>	はユーザ名の変更	ユーティリティ	
	う前回のバックアッ	<u>ップ ステータス レポート</u>	② ジョブ スケジューラ ウィザード ジョブのスケジュールとサス・水を実行します。	
	bashboard	Infrastructure Visualization	ブートキット ウィザード Disater Recovery ブートキナの作成を支援します。	

## 3.2.2 惨事復旧情報の複製設定

画面起動後、左下にある [環境設定] ボタンをクリックします。

泰 ブートキット ウィザード		×
Disaster Recovery - ブートキット ウィザー	ドヘようこ <del>て</del> te	chnologies
CA AROserve Backup ドメインおよび	ザーバ	
ドメイン名(D):	STRG14304	
サーバ名:	STRG14304	
ドメイン ユーザ名とパスワードを入力し	てください。	
記録正の種業員(A):	CA ARCserve Backup 認証	
ユーザ名(U):		
パスワード(P):		
現在の Windows ユーザと	してログイン(L)	
この「育都を1未1チ9つ(ド) 継続する(二) 「たん」たりいの」ます		
120/29 20202 ( DAY 1) 2000000 98		
環境設定(0)	次	:ハ(N)> キャンセル(C)

自サイトの DATA DOMAIN の情報と共有フォルダに作成した惨事復旧用フォルダを指定し、[OK] をクリックします。

複製先サーバ名: 自サイトの DATA DOMAIN の IP アドレス
Windows ドメイン: 自サイトの DATA DOMAINの IP アドレス
ユーザ名: 自サイトの DATA DOMAIN の sysadmin アカウント
パスワード: sysadmin のパスワード
パス (共有名を含む): 本ガイドでは msd

ĩ	复旧情報の複製先						
	ブル バックアップ完了時に、	そのサーバの1割日に必要な情報が CA ARCserve Backup サーバに保存されます。					
	この「割目情報を他の CA ARCserve Backup サーバに複製することで、そのサーバ上でも Disaster Recovery ブートキット を作成できます。「情報を他のサーバに複製するには「「割日情報の複製先」 チェックボックスをオンにし、以下の項目を入力して [OK] をクリックしてください。						
	☑ 復旧情報の複製先(山)						
	複製先サーバ名:	192.168.10.231					
	Windows ドメイン:	192.168.10.231					
	ユーザ名:	sysadmin					
	パスワード:	*****					
	パス (共有名を含む):	msd					
	(例: C\$¥DRaiternate または DRaiternate (共有フォルダの場合))						

[OK] をクリックすると [復旧情報の複製先] 画面が閉じるので、その後は [キャンセル] をクリックし、 ブート キット ウィザードを終了します。

## 3.3 Client Agent の登録

ネットワーク上のノードをバックアップするには、ARCserve Backup マネージャ画面で Client Agent を導入したマシン を登録する必要があります。

#### 3.3.1 バックアップマネージャの起動

Client Agent の登録はバックアップ画面で実施します。

ARCserve Backup のマネージャの右側にある青いバーで [クイック スタート] をクリックし、展開されたメニューから [バックアップ マネージャ] をクリックします。

E C	A ARCserve Backup - [ホーム]			_ <u>-</u>
👧	ファイル(F) クイックスタート(Q) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)			_ 8 ×
<b>»</b>	O O O 😔 😚			
ナビゲーシ	ARC Serve BACK	JP		technologies
E	デフォルト サーバとセキュリティ	クイック	フスタート	
X	ドメイン: STRG14304 デフォルト サーバ: STRG14304		ジョブ ステータス マネージャ ジョブのモニタとログのチェックを行います。	
Ľ	그-ザ名: caroot 🎇	R	<u>バックアップ マネージャ</u> バックアップ ジョブの設定とサブミナを行います。	
	デフォルトサーバまたはユーザ名の変更	6	<u>アーカイブ マネージャ</u> アーカイブ ジョブの設定とサブミットを行います。	

## 3.3.2 <u>CLIENT AGENT の登録</u>

[ソース] タブをクリックし、Client Agent を展開します。

バックアップ サーバ自身は最初から追加されているため、Client Agent を導入したネットワーク上のマシンを追加します。[Client Agent] 上で右クリックし、[マシン/オブジェクトの追加]を選択します。

追加画面でマシン名と管理者アカウントを指定し、[OK]をクリックします。

霧CA ARCserve Backup - 「バックアップ]	エージェントの追加
鱦 ファイル(F) クイック スタート(Q) 表示(V) バックアップ(B) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
*********************************	「エージェント情報 ホスト名(N): STRG14305 IP アドレス(A): 0 . 0 . 0 . 0
ジループ ビュー     ブループ ビュー     ブループのカスタマイズ(○)     サーバ名(□)	□ンピュータ名の解決を使用(U)(推奨)
2 □-□ 昆 Client Agent 名前 ▲ 種類 バ 田-□ 望 STRG14 セキュリティ- Windows ジ	セキュリティ情報
1 ■ ■ ■ Microsoft S( マシン/オブジェクトの追加	ユーザ名(U): Administrator , IBA
Microsoft Sr Lーシェントの週期ルインホート/エタスホート Microsoft Es	
	/\.\?_P(F). ]*******
ー コ B Sybase Serv ー コ B Lotus Domin クイック検索 Ctrl+F	OK(O) キャンセル(C) ヘルプ(H)
- I 🚯 NAS Agent	

しばらくすると、マシンが追加されます。



複数のノードを登録する場合は、3.3.2の処理を繰り返します。

## 4. ARCserve Backup のバックアップ設定

バックアップのスケジュールを作成します。

本ガイドでは DATA DOMAIN 上に 2 つのファイル システム デバイスを用意し、1 週間分のフルバックアップと増分バック アップを 1 つのファイル システム デバイスに書き込みます。2 つのファイル システム デバイスを交互に利用し、1 週間 分のデータは必ず残る形でバックアップ スケジュールを作成します。

このスケジュール方法は [カスタム スケジュール] を利用し、一定間隔のバックアップ スケジュールを 12本作成します。



## 4.1 フルバックアップのスケジュール作成

14日間隔のフルバックアップスケジュールを2つ作成し、2本のメディアを交互に使用します。

- 4.1.1 1本目のフルバックアップスケジュール作成
  - (ア) バックアップ マネージャの起動

ARCserve Backup のマネージャの右側にある青いバーで [クイック スタート] をクリックし、展開されたメニューから [バックアップ マネージャ] をクリックします。

(イ) スタート タブの設定

ファイル システム バックアップを利用するため、スタート タブはデフォルトの [標準バックアップ] のまま進めます。

(ウ) ソース タブの設定

Client Agent を展開し、復旧対象マシンを全選択(復旧対象のノード左側にある緑色のボックスをクリックして塗りつぶします)します。

📊 C	A ARCserve Backup	- [ノミックアッフ]						
1	ファイル(F) クイック スター	-(Q) 表示(V)	バックアップ(E	3) ウィンドウ	(W) ヘルプ(H)			
» ナビ	STRG14304	ÿa7 ▼ 📀	<del>7</del> −7   ⊘ (	DB ② サブミ	) (11) (11) (11) (11) (11) (11) (11) (1	<b>フ</b> ィルタ	<b>②</b> 表示	•
ゲー	スタート > ソース	スケジュー/	レンデス	ティネーション	>			
ンヨ	グループ ビュー	■ グルー:	プのカスタマイ <i>ス</i>	((C)	サーバ名(N):			ť
2	🖃 🖬 📴 Client Agent	名前	2			種類		
$N_{\rm c}$	🕀 🖬 🗾 🗾 STRG14	304 ( 🛛 🔳 🚍 🤇	>			ボリューム		
		305 ( 📕 🔳 🥅 E	:			ボリューム		
	Herosoft SC	ul Ser 🔲 🌆 🚮 B narePc	システム状態					



復旧対象マシンを部分選択する場合は、後述 (カ) のグローバル オプションで※の追加 設定を行ってください。(フィルタの設定を行っている場合もグローバル オプションの追加 設定が必要になります。) (エ) スケジュール タブの設定

2週間に1回の上書きジョブを作成します。(増分と組み合わせるため、フルバックアップは2番目を必ず選択します。)

スケジュール方法: 初期値の [カスタム スケジュール] のまま 繰り返し方法: 一定間隔 (毎: 14 日 指定) バックアップ方式: フル (アーカイブ ビットをクリア)

E C	A AR	Cser	ve Backup	- Die	ウアップ]							
2	ファイル	(F)	クイック スター	·卜(Q)	表示(V)	バックアッ:	プ(B)	ウィンドウ(W)	ヘルプ(H)			
» ナビ	STR	G143	04	•	ॐৰ7 ⊘	<del>7</del> -7	də Ø	<b>೦</b> サブミット	<mark>:二</mark> オプション	🥡 วามร	<b>泛</b> 表示	¥
ゲー	28-	-ト	> א-ג	> 7	カジュー	k 🗸 🗄	デスティン	ネーション >				
ション	(	しカス	.タム スケジュ・	-11(C)	0 0	一テージョ)	ンスキー	-マ(R)				
バ 1		繰り:	返し方法(E)	一元	E間隔		J					
		名	<b>₽</b> (V)	14	B	-	]					
			□ 追加(P)		6 <u></u> [	3						
坎	Г	バック	アップ方式ー									
Ť		6	<u>、フル (アーカ</u> 、フル (アーカ	イブ ドッ イブ ビッ	トを維持)( トをクリア)(	K) L)						
r		0	) 増分(1)									
フ		0	左方(U)									

(オ) デスティネーション タブの設定

1本目のメディアを指定します。

デバイス グループ: 左ペインから DD1 を選択 メディア名: DATA DOMAIN1 を手入力 (メディア名はお好きな名前を付けてください)

	A ARCserve Backup – [/īፇ	ックアップ]					
2	ファイル(F) クイック スタート(Q) :	表示(V) バックアップ	(B) ウィンドウ(W) /	ヘルプ(H)			
» ナビ	STRG14304	ÿa7 ∓−7 ⊘ ⊘	DB ② サブミット オ	1ブション フィルタ 表示	•		
ゲ	スタート > ソース > 7	スケジュール 🖒 茾	スティネーション 🗸 🗸				
ション	□ マルチ ストリーミング(①) □ マルチプレキシング(2)	最大ストリーム数	4	□ 任意のグループを使用 グループ(G) □DD1	メディア() メディア :	): [DATA DOM プール(の): [	AIN 1
î		<b>ਙ</b> ੍ਰ<デバイス: 1> <ブ	ランク メディア>				

(カ) グローバル オプションの設定

上書き設定を行うため、画面上部にある [オプション] ボタンをクリックし、 グローバル オプションを表示します。

下記の項目を変更し、[OK]をクリックします。

最初のバックアップ メディア: [上書き – 同名のメディア、ブランク メディアのみ] を選択 画面下部の [名前のみを使用してメディアを識別する] にチェック

ーバル オブミ	νεν								
ウイルス バックアップ :	Alert メディア	メディ) 検証	Pのエクスポート 再試行	拡引 操作	長   実行前	ボリューム シャ 前/後の処理	רי בוצר ליי ד-יארא	ビス	暗号化/圧縮   ジョブログ
以下のオプ	ションでは、CA	ARCserve B	ackup でバック	アップおよびマ	イグレーショ	ン時にメディアを行	管理する方法を	指定します。	,
ローテーショ アおよび追加	iン スキーマを使 加のバックアップ	用している場 メディアのオブ	合は、スキーマ( ションよりも優先	指定されたロ されます。	ーテーショ	> ルールが、以下	に指定された最	き初のバック)	アップ メディ
最初のバッ	ウアップ メディア								
0 パデ	ィアへの追加(M	) =		0					
<ul> <li>〇 上書</li> </ul>	野さ - 同名の外 野き - 同名の外	ディア、フランク	メディア、その1	ワ 也のメディア(W	)				
🔽 94.	ムアウト(1):	5	分						
一追加のバッ	・ クアップ メディア		_						
<ul> <li>上書</li> </ul>	き - 同名のメ	ディア、ブランク	メディアのみ(ト	0					
<ul> <li>上書</li> </ul>	き - 同名のメ	ディア、ブランク	メディア、その付	也のメディア(日	)				
□ タイ.	ムアウト(E):	60	分(T)						
	うのみた(声田) つ	「リデノフを満ち	11オス(G)						
1 108	100/200/10/	- 20 H / 12 68X/	19:0/0/						

※ Disaster Recovery Option の惨事復旧情報はマシン全体を選択した場合のみ、作成/更新します。 前述(ウ)のステップで、復旧対象マシンの一部のみを選択された(もしくはフィルタの設定を行われ た)場合、グローバルオプションの[拡張]タブで以下項目のチェックが必要になります。

部分選択したマシン: [一部だけ選択されたノードの復旧情報を作成する] フィルタ設定したマシン: [リストア セッション情報の生成時にフィルタされたセッションを含める]

(キ) バックアップ ジョブのサブミット

画面上部にある [サブミット] ボタンをクリックし、スケジュール ジョブのサブミット(登録)作業を行います。

各マシンのアカウントを確認します。(画面ショットの真ん中は ARCserve Backup のデータベースになりますが、こちらはバックアップ サーバのアカウント認証で実行されるため、空欄で構いません。)



ジョブ実行時刻ジョブ名を変更し、[OK]をクリックします。(ジョブ名の変更は任意です。)

ジョブのサブミット	<u>?  x</u>
「ジョブの詳細(J)	ジョブ実行時刻
ジョブの種類	○ 即実行(R)
パックアップ スケジュール ジョブ 実行時間: 2013/08/14 <b>ソース ノード</b> STRG14304(0.0.0.0) エージェント経由	<ul> <li>         ・ 実行日時指定(N)         <ul> <li>2013/08/17 ▼</li> <li>2330:00 ÷</li> <li>「ジョブをホールド状態でサブミット(B)             </li> </ul> </li> </ul>
STRG14305(0.0.0.0) エージェント経由	ソース優先度(P)
デスティネーション ノード	(保存(S)
ジョブ名(A):	テンプレートの(呆存(T)
パックアップ (カスタム) フル DD1	プレフライト チェック(F)
<u> </u>	(H)

ジョブ実行時刻: 初回フルバックアップ実行日時に変更 ジョブ名: 12 個のジョブを判別しやすくするため、ジョブ名を変更

画面を開いたまま、次のフルバックアップ スケジュールを設定します。

#### 4.1.2 2本目のフルバックアップスケジュール作成

2本目のフルバックアップは1本目のスケジュール情報を使い、変更する箇所だけ修正します。

$\bigstar$	2回目移行のフルバックアップは、DATA DOMAINの重複排除機能により、フルバックアップでも増分バ ックアップのデータ量と殆ど変わらない大きさになります。
	シノノシノシノーを里し加と炙れらない人とこになりよう。

(ア) デスティネーション タブの設定

2本目のメディアを指定します。

デバイス グループ: 左ペインから DD2 を選択

メディア名: DATA DOMAIN2 を手入力 (メディア名はお好きな名前を付けてください)

E C	このA ARCserve Backup - [パックアップ]						
2	ファイル(F) ケイックスタート(Q) 表示(V) バックアップ(B) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)						
» ナビ	STRG14304     ジョブ     テープ     DB     ④     ●       サブミット     オブション     フィルタ     表示						
ゲー	スタート > ソース > スケジュール > <mark>デスティネーション &gt;</mark>						
ショ	マルチストリーシング(1)         最大ストリーム数         「日倉のヴループを使用         メディア(E):         DATA DOMAIN2						
2	□ マルチプレキシング(2)						
î	日 曇 サーバ 日 雪 STRG14304 → DD1 → DD2						

(イ) バックアップ ジョブのサブミット

画面上部にある [サブミット] ボタンをクリックし、スケジュール ジョブのサブミット(登録)作業を行います。 ジョブ実行時刻とジョブ名を変更し、[OK] をクリックします。(ジョブ名の変更は任意です。)

ジョブ実行時刻: 2回目のフルバックアップ実行日時 (1本目フルバックアップの翌週) に変更 ジョブ名: 12個のジョブを判別しやすくするため、ジョブ名を変更

ジョブの種類	<b>_</b>	C 即実行(P)
バックアップ		(● 美行日時指定(N)
スケジュール ジョブ		2013/08/24 💌
実行時間: 2013/08/14		23:30:00
<u>ソース ノード</u>		「 ジョゴネホール ビザ 超 かせゴミット( P)
STRG14304(0.0.0.0) エージェント経由		
STRG14305(0.0.0.0) エージェント経由		
デスティネーション ノード	-	(保存(S)
/名(A):		テンプレートの保存(T)
クアップ [カスタム] フル DD2		プレフライト チェック(F)

ARCserve Backup r16.5 では、登録済みのバックアップスケジュールと同じバックアップソース(対象デ ータ)が選択されると確認画面を表示します。[はい]をクリックしてサブミットを実行します。

重張したソ	「人の通知」			Ň
<u>.</u>	定期的に実行される GFS、ローテーション、または繰り このジョブには、ジョブ キュー内の他の GFS、ローテーシ す。 ジョブをサブミットしてもよろしいですか?	返しジョブをサブミット ョン、または繰り返し	ヽしようとしています。 」ジョブと共通のソースが含まれていま	
羊糸田				
	パス		ソース グループ	
	住のソヨノの重作したソース			
		(\$L1(Y)	(ハハズ(N) ヘルプ(H)	

画面を開いたまま、増分バックアップ スケジュールを設定します。

#### 4.2 増分バックアップのスケジュール作成

本ガイドでは月曜日から金曜日までの増分バックアップを作成し、フルバックアップの後に増分を追記します。2本の メディアを交互に利用したフルバックアップメディアを利用するため、10本の増分スケジュールを作成します。

4.2.1 1本目の増分バックアップスケジュール作成

増分バックアップはフルバックアップのスケジュール情報を使い、変更する箇所だけ修正します。

(ア) スケジュール タブの設定

2週間に1回の増分バックアップジョブを作成します。

スケジュール方法: 初期値の [カスタム スケジュール] のまま					
繰り返し方法: 一定間隔 (毎: 14 日 指定) のまま					
バックアップ方式: 増分に変更					
E C	A ARCserve Backup - [バックアップ]				
2.	ファイル(F) クイック スタート(Q) 表示(V) バックアップ(B) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)				
» ナビ	STRG14304     ジョブ     デーブ     DB     ●     評価     ●       サブミット     オブション     フィルタ     表示				
7	スタート > ソース > <mark>スケジュール &gt;</mark> デスティネーション >				
ション	◎ カスタム スケジュール(C) ○ ローテーション スキーマ(R)				
75 1	繰り返し方法(E) 一定間隔 ▼				
	每(V) 14 日				
	「 )首加(P) 「 6 <u>-</u> 日				
サ	バックアップ方式				
7	○ フル (アーカイブ ビットを維持)(K)				
F	<ul> <li>グル(アーカイ) ビットをグリア(L)</li> <li>● 増分(0)</li> </ul>				
	○ 差分(D)				
フ					

(イ) デスティネーション タブの設定

1本目のメディアを指定します。

デバイス グループ: 左ペインから DD1 を選択

	メディア名: 1 本目のフルバックアップのメディア名(本ガイドでは DATA DOMAIN1)を手入	力
C	A ARCserve Backup - Disクラップ]	
24	ファイル(F) クイックスタード(Q) 表示(V) ハックアップ(B) ワインドワ(W) ヘルプ(H)	
» ナビ	STRG14304     ジョブ     デーブ     DB     ジョブ     ジー       サブミット     オブション     フィルタ     表示	
ゲー	スタート > ソース > スケジュール > <mark>デスティネーション &gt;</mark>	
ション	□ マルチストリーシング(1) 最大ストリーム数 □ 任意のグループを使用 メディア(E): □ DATA DOMAIN1 □ マルチプレキシング(2)	
1	□ - 県 サーバ □- 県 STR314804 □- 回 DD1 □- 回 DD2	

(ウ) グローバル オプションの設定

書き込み方式を追記に変更するため、画面上部にある [オプション] ボタンをクリックし、 グローバル オプ ションを表示します。

下記の項目を変更し、[OK] をクリックします。

最初のバックアップ メディア: [メディアへの追加] に変更

グローバル オブション <mark>×</mark>
マ タイムアウト(0: 500 57 / Concest of Anno
追加のバックアップ メディア ・ 上書き - 同名のメディア、ブランク メディアのみ(N) ・ 上書き - 同名のメディア、ブランク メディア、その他のメディア(B) 「 タイムアウト(E):
☑ 名前のみを使用してメディアを識別する(G)

(エ) 月曜日の増分バックアップ ジョブのサブミット

画面上部にある [サブミット] ボタンをクリックし、スケジュール ジョブのサブミット(登録)作業を行います。

ジョブ実行時刻とジョブ名を変更し、[OK]をクリックします。(ジョブ名の変更は任意です。)

ジョブ実行時刻: 1回目の月曜日に実施する増分バックアップ実行日時に変更 ジョブ名: 12個のジョブを判別しやすくするため、ジョブ名を変更

	「ジョブ実行!	時刻	
<b>_</b>	○ 即実	行(R)	
	<ul> <li>実行</li> <li>201</li> <li>23:</li> </ul>	日時指定(N) 13/08/19 🔪 30:00 ÷	
	□ ジョブ	をホールド状態でサブミット(B)	
		ソース優先度(P)	
-		(保存(S)	
		テンプレートの(保存(T)	
		プレフライト チェック(F)	
	×	ジョン実行       ・ 即実       ・ 丁       ・ 丁	ジョブ東行時刻     「 即東行(R)     「 即東行(R)     「 東行日時指定(N)     [2013/08/19 ▼     [23:30:00 王]     [ ジョブをホールド状態でサブミット(B)     [ ジョブをホールド状態でサブミット(B)     [ ゾース優先度(P)     [保存(S)     「 テンプレートの(保存(T)     ] プレフライトチェック(F)

(オ) 火曜日から金曜日の増分バックアップ ジョブのサブミット

火曜日から金曜日は実行日時(とジョブ名)を除き月曜日と同じ設定になるため、月曜日の増分バックアップのサブミット完了後にバックアップ画面上部にある [サブミット] ボタンをクリックし、スケジュール ジョブの サブミット(登録)作業を行います。(火曜日から金曜日まで4回繰り返します)

ジョブ実行時刻とジョブ名を変更し、[OK]をクリックします。(ジョブ名の変更は任意です。)

ジョブ実行時刻: 1回目の各曜日に実施する増分バックアップ実行日時に変更 ジョブ名: 12個のジョブを判別しやすくするため、ジョブ名を変更

画面を開いたまま、2本目の増分バックアップスケジュールを設定します。

## 4.2.2 2本目の増分バックアップスケジュール作成

これまでと同様に変更する箇所だけ修正します。

(ア) デスティネーション タブの設定

2本目のメディアを指定します。

デバイス グループ: 左ペインから DD2 を選択

- C	CA ARCserve Backup - [/īックアップ]
2	ファイル(F) クイックスタート(Q) 表示(V) バックアップ(B) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
» ナビ	STRG14304     ジョブ     テープ     DB     ●     ●     ●       サブミット     ガブョン     フィルタ     表示
ゲー	スタート > > ソース > スケジュール > デスティネーション マ
ション	□ マルチ ストリーシング(1) 最大ストリーム数         □ 任意のグループを使用         メディア(1):         DATA DOMAIN2           □ マルチブレキシング(2)         ガループ(2)         DD2         メディア ブール(2):         ▼
バ 1	

(イ) 月曜日の増分バックアップ ジョブのサブミット

画面上部にある [サブミット] ボタンをクリックし、スケジュール ジョブのサブミット(登録)作業を行います。

ジョブ実行時刻とジョブ名を変更し、[OK]をクリックします。(ジョブ名の変更は任意です。)

ジョブ実行時刻: 2回目の月曜日に実施する増分バックアップ実行日時に変更 ジョブ名: 12個のジョブを判別しやすくするため、ジョブ名を変更

ジョブの言羊糸田(J)		- ジョブ実行時刻	
ジョブの種類	<b>_</b>	○ 即実行(R)	
バックアップ		④ 実行日時指定(N)	
スケジュール ジョブ		2013/08/26 💌	
実行時間: 2013/08/19		23:30:00	
<u>ソース ノード</u>		□ ジョブをホールド状態でサブミット(B)	
STRG14304(0.0.0.0) エージェント経由 STRG14305(0.0.0.0) エージェント経由		ソース優先度(P)	
デスティネーション ノード	-	(保存(S)	
		テンプレートの保存(T)	
バックアップ [カスタム] 増分月 DD2		プレフライト チェック(F)	

(ウ) 火曜日から金曜日の増分バックアップ ジョブのサブミット

火曜日から金曜日は実行日時(とジョブ名)を除き月曜日と同じ設定になるため、月曜日の増分バックアップのサブミット完了後にバックアップ画面上部にある [サブミット] ボタンをクリックし、スケジュール ジョブの サブミット(登録)作業を行います。(火曜日から金曜日まで4回繰り返します)

ジョブ実行時刻とジョブ名を変更し、[OK]をクリックします。(ジョブ名の変更は任意です。)

ジョブ実行時刻: 2回目の各曜日に実施する増分バックアップ実行日時に変更 ジョブ名: 12個のジョブを判別しやすくするため、ジョブ名を変更

以上でバックアップのスケジュールの作成は完了です。

# 5. 復旧メディアの準備

バックアップしたマシンを復旧する場合、Disaster Recovery Optionの惨事復旧を実行します。惨事復旧では、マシンを ブートするための復旧メディアが必要になるため、ARCserve Backupの Disaster Recovery Optionを導入したら最初に 復旧メディアを作成し、事前にリカバリサイトに送っておきます。

Disaster Recovery Option の惨事復旧では Windows PE ベースの復旧メディアを利用し、マシンのブート処理からバック アップ データを使ったマシンの復旧まで、一連の復旧処理を全て実行します。復旧メディアの作成には Windows ADK (アセスメント & デプロイメント キット)、もしくは Windows AIK (自動インストール キット)のモジュールが必要となります。

## 5.1 Windows ADK (Windows AIK)の入手

日本マイクロソフト株式会社のホームページから、Windows ADK,、もしくは Windows AIK をダウンロードします。

ADK: http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=30652

AlK: <u>http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=5753</u>

	ブートキット ウィザード表示	対応OS
ADK	Windows 8	Windows Server 2012 Windows Server 2008/2008 R2
AIK	Windows 7	Windows Server 2008/2008 R2 Windows Server 2003/2003 R2

Windows ADK や Windows AIK は、Disaster Recovery Option のブートキット ウィザード画面からもダウンロードできます。(インターネット接続が必須です。)

## 5.2 Windows ADK (Windows AIK) のインストール

バックアップ サーバに Windows ADK (もしくは Windows AIK) をインストールします。

インストール機能の選択画面で [Deployment Tools] と [Windows Preinstallation Environment (Windows PE)] にチェックを付けて導入します。



インターネット接続が許可されていないマシンに Windows ADK を導入する場合は、インターネット接続が できるマシンで Windows ADK のダウンロードとセットアップを実行し、セットアップ選択メニューで [個別の コンピュータにインストールするために アセスメント & デプロイメント キット をダウンロードします] にて関 連ファイルのダウンロードをまず行ってください。 関連ファイルのダウンロード後、ダウンロード先フォルダにあるセットアップ モジュールでインターネット接続 なしの環境に Windows ADK を導入します。詳細は下記 URL を参照してください。 <u>http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/hh825494.aspx</u>

## 5.3 Disaster Recovery Option の復旧メディア作成

Disaster Recovery Option のブート キット ウィザードを使用し、復旧メディアを作成します。復旧対象マシンの OS が 32bit と 64bit 両方ある場合は、32bit 用と 64bit 用をそれぞれ作成します。

սերերի	復旧>
_//	

復旧メディアを作成するには、ARCserve Backup のインストール メディアも必要になります。あらかじめ DVDドライブに ARCserve Backup のインストール メディアを挿入しておきます。

## 5.3.1 ブートキットウィザードの起動

ARCserve Backup のマネージャの右側にある青いバーで [ユーティリティ] をクリックし、展開されたメニューから [ブートキット ウィザード] をクリックします。

CA ARCserve Backu			_ 8 ]
S C C C C	- F(Q) 表示(V) リインドウ(W) ヘルフ(H)		
	Serve BACK	JP	technologies
ラ デフォルトサーバと	セキュリティ	クイックスタート	
バ イ デフォルトサーバ:	STRG14304 STRG14304	モニタとレポート 保護と回復	•
ユーザ名: デフォルトサーバは	caroot 🔐	管理	
したのバック	アップ ステータス レポート	ジョブ スケジューラウィザード ジョブのスケジュールとサストを実行します。	
Uashboard	nfrastructure Visualization	ブートキット ウィザード Disaster Recovery ブートキットの作成を支援します。	

## 5.3.2 ARCSERVE BACKUP アカウント指定

ARCserve Backup の管理者アカウント(本ガイドでは caroot を指定)とパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。

藤 ブートキット ウィザード		×
Disaster Recovery - ブートキット ウィザー	FALJZZ Cechnologies	
CA ARCserve Backup ドメインおよび	サーバ	
ドメイン名(D):	STRG14304	
サーバ名:	STRG14804	
ドメイン ユーザ名とパスワードを入力して		
記想証の種業類(A):	CA ARCserve Backup 認証	
ユーザ名(U):	caroot	
パスワード(P):	*****	
現在の Windows ユーザと	してログイン(L)	
してい)情報版を1米1子する(R)		
作画記するには、レスヘ」をクリックします。		
環境設定(O)	次へ(N) > キャンセル(C)	

#### 5.3.3 復旧メディア作成の選択

CD/DVD ブートを行うための復旧用メディアを作成するため、[WinPE DR イメージをカスタマイズする]を選択します。

፬ ፓートキット ウィザード	×
惨事復旧ブートキットの種類の選択 Contract Co	
ARCserve Backup ブートキットの種類の選択	
○ 共通のブートキット処理(O) Machine Specific Disk (MSD)、ARCserve Bootable イメージ、および ARCserve Disaster Recovery CD/DVD の作成が含まれます。	
<ul> <li>MinPE DR イメージをカスタマイズする(U) 惨事(割目操作を実行するためのカスタム WinPE イメージを作成します。WinPE イメージを作成するには、 Windows 8 用の Windows アセスシント &amp; デブロイメント キット (ADK)、または Windows 7 用の Windows 自動インストール キット (AIK) が必要です。</li> <li>注 Windows AIK を使用して、VMware ESX Server 4.1/4.0、Workstation 7、およびより古いパージョン上で 仮想マシンの惨事(割日を実行するためのイメージを作成することができます。)</li> <li>こたを力リックすると、Windows 8 用 Windows ADK のダウンロード センター(こアクセスできます。)</li> <li>こたを力リックすると、Windows 7 用 Windows AIK のダウンロード センター(こアクセスできます。)</li> </ul>	
戻る(B) 次へ(N) > キャンセル(	0)

#### 5.3.4 OS プラットフォームと ISO イメージ作成先の選択

復旧マシンの OS プラットフォームに応じて、32 ビット OS (x86) か 64 ビット OS (x64) を選択します。作成先を確認し、[次へ] をクリックします。

🎄 ブートキット ウィザード				×
惨事復旧イメージのブラッ	ットフォームおよび場所の選択		technologies	
ーブラットフォームの指定 ×64 ブラットフォ ×86 ブラットフォ ×64 ブラットフォ	E ーム用 WinPE DR イメージ ーム用 WinPE DR イメージ ーム用 WinPE DR イメージ ーム用 WinPE DR イメージ			
場所の指定 WinPE DR イメ・ C¥Program Fi 注: デスティネージ	ージを保存するフォルダを選択してください。 les¥CA¥ARCserve Backup yョンには少なくとも 1.5 GB の空き容量が必要で	.ਰ.	参照( <u>R</u> )	
惨事復旧イメー: Winpe_x64.iso	ジの名前を指定します			
		戻る(B)	汰へ(Ŋ)>	キャンセル(O)



32/64 ビット両方ともある場合は、片方のイメージを作成後にもう1度ブートキット ウィザードから残る イメージを作成し、各 OS プラットフォーム用の2種類のイメージを作成します。(復旧メディアは 32/64 ビットの OS プラットフォームが同じであれば、1枚作成すると複数のマシンで利用できます。)

#### 5.3.5 ARCSERVE BACKUP のインストール メディアの指定

DVD ドライブに ARCserve Backup のインストール メディアが入っていない場合は、メディアを挿入して [次へ] をクリックします。

🕷 ፓートキット ウィザード	×
CA ARCserve Backup インストール ソース ディレクトリの選択 Ca ARCserve Backup インストール ソース ディレクトリの選択	
CA ARCserve Backup インストール ソース パスの指定:	
▲ AB_16_5_MIN_DVS (D) ● 優熙(B)	
CA ARCserve Backup インストール ソースの有効なパスとは、全フォルダおよびサブフォルダを含め CA ARCserve Backup CD/DVD のすべての内容が含まれているディレクトリまたはドライブです。	
イメージに対して英語リソースを有効にする(E)	
戻る(B) <u>次へ(N) &gt;</u> キャンセル	0

#### 5.3.6 復旧メディアへのドライバ統合の選択

復旧メディアにネットワークドライバや RAIDドライバ、iSCSI のイニシエータを組み込めます。本ガイドでは [NIC/SCSI/FC/RAIDドライバを統合する] にチェックが付いたまま [次へ] をクリックします。

(iSCSI を利用環境(クラスタ環境など)では、[Microsoft iSCSI イニシエータを統合する] にもチェックを付けます。)

🖗 ブートキット ウィザード	×
惨事復旧オプションの選択 Control Control Contro	
Windows システムの復日に必要な追加のドライバおよび更新を選択してください。 WinPE 核事復日 イメージの作成: ▼ NIO/SOSI/FO/RAID ドライバを統合する] デバイス ドライバが統合されると、核事復日中に再度ドライバをロードする必要はありません。 ■ Microsoft ISOSI イニシエータを統合する Microsoft のソフトウェア ISOSI イニシエータが統合されると、惨事復日中にデータを ISOSI 接 続ターゲットヘリストアできます。 Windows 2008/2008 R2/2012 ISOSI イニシエータのみ WinPE DR イメージに統合可能です のでご注意ください。	
戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) >	キャンセル(©)

## 5.3.7 <u>ドライバ追加</u>

Disaster Recovery Optionの惨事復旧情報には、各マシンのドライバが含まれています。[NIC/SCSI/FC/RAIDドラ イバを統合する] が選択されたことにより、ブートキット ウィザードではバックアップ サーバやネットワーク上のマシン のドライバを自動的に選択します。その他のドライバを追加する場合は、[ドライバの追加] ボタンで追加できます。

\$ 🖗 ブートキット ウィザード 📃 🔀				
ーー WinPE DR イメージに統合するドライバを指定してください technologies				
ドライバリスト				
ドライバ クラス	メーカ	バージョン	[ <i>1</i> /2	
☑ Net	MSFT	06/21/2006, 6.1.7	C:¥Program Files (x86)¥CA¥ARCserve B	
SYSTEM	Standard	06/21/2006, 6.1.7	C:¥Program Files (x86)¥CA¥ARCserve B	
	_			
			·	
▼ すべて選択(S)			ドライバの追加(A)	ドライバの削除(D)
			戻る(B) 次へ(N) >	キャンセル(C)

惨事復旧情報は、マシン全選択でバックアップすると作成されます。ドライバを組み込む場合はバッ クアップを行ってから復旧メディアを作成すると、各マシンのドライバが自動的に復旧メディアに組み 込まれます。 (64 ビット OS のバックアップ サーバでは、惨事復旧情報は C:¥Program Files (x86)¥CA¥ARCserve Backup¥DR フォルダに格納されます。)

## 5.3.8 イメージ作成

[OK] をクリックし、ISO イメージを作成します。

DR イメージ カスタマイズ情報	×
WinPE DR イメージ オブションの設定が完了しました。 今すぐ WinPE 惨事復旧     イメージを作成しますか?	
OK キャンセル	

## 5.3.9 ISO イメージからメディア作成

[完了]をクリックし、ISO イメージのデータからメディアを作成しておきます。



ライティング ソフトを利用し、ISO イメージから復旧メディアを作成します。DATA DOMAIN の複製先でも復旧メディ アが必要となるため、自サイト分とリカバリサイト分のメディアを作成します。



## 6. リカバリサイトでの惨事復旧

サイト障害が発生した場合は、リカバリサイトに複製されたバックアップデータを使い、リカバリサイト内で復旧処理を実施します。ARCserve Backupの Disaster Recovery Option では、P2V や V2V など仮想環境にも復元できます。

## 6.1 復旧準備

#### 6.1.1 復旧メディアの用意

あらかじめ送付(もしくはコピー)されていた Disaster Recovery Option の復旧メディアを準備します。

復旧メディアに復旧先マシンのハードディスク系 (RAID など) のドライバやネットワークドライバが入っていないと 復旧処理を進められないため、この 2 つのドライバは用意しておきます。

復旧メディアの作成時に各ドライバを導入している場合は、復旧メディア内にドライバが存在するた め、用意する必要はありません。

#### 6.1.2 DATA DOMAIN の複製設定解除

DATA DOMAIN で複製先に指定されているフォルダは権限が足りないため、マシン復旧時は DATA DOMAIN の Replication 設定を削除します。

ブラウザでリカバリサイトの DATA DOMAIN にログオンし、Replication メニューから arcserve フォルダと replica フォルダのペア設定にチェックを付けて、[Delete Pair] をクリックします。

🖉 Enterprise Manager –	Windows Internet Explore	r					
🔆 🕙 🗢 🔝 http://192	.168.10.231/ddem/			•	Bing		<b>P</b> •
🚖 お気に入り 🦙 🙋 おう	すすめサイト・ 🙋 Web スライス	ギャラリー・					
IM Enterprise Manager	1			<u>ن</u> -	🔊 - 🖃 🌧 - K-9	(P)・ セーフティ(S)・ ツー	JL(O) ▼ 🔞 Ŧ
datadon	nain Manageme	ent Station: 192.168.10.231			sysadmin 🗳	Log Out 🔞 Refresh	? Help
Enterprise M	anager 🚍 dd1.lo	ocaldomain OS: 5.1.1.0-2912	218 Model: DD <sup>.</sup>	60			
	Status	Data Management <b>Repl</b> i	ication	Hardware	System Settings	Maintenance	
😑 🚍 DD Network	Replication					7	
dd1.localdomain	Status: Co	onfigured replication contexts: All ar	re Normal				
autiounoman	Summary	Topology Perf	ormance	Advanced Settings			
	Create Pair Enable	Pair Disable Pair Delete Pair	Modify Settings	More <b>V</b>			
	Filter By: All					Update Reset	
	☑   Source ♦	Destination	Type 🔹   Sta	te 🔺 Synced As Of Time	Pre-Comp Remaining	Completion Time (Est.)	
	dd1.loc/backup/a	rcserve dd2.lo/backup/replica	Dir No	mal 05/30 1:47 PM	0.00 GiB	Completed	
	Items Selected: 1				Items 1-	1 of 1 📧 < > >	
	Detailed Information	Performance Graph					
	State Description: Source: Destination: Connection Port:	Replicating dd1.localdomain/backup/arcserve dd2.localdomain/backup/replica dd2.localdomain:2051					
	Completion Stats		Sta	us	Source	Destination	
	Synced As Of Time:	2013/05/30 1:47:11 PM	Rep	lication:	Enabled	Enabled	
Poporte	Completion Time (Est.):	Completed	File	System:	Enabled	Enabled	
Techlos	Pre-Comp Remaining:	0.00 GIB	End	ryption At Rest:	Notlicensed	Notlicensed	-
lask Log							
ページが表示されました				🛛 🛛 💦 🗸 信頼	∬済みサイト│保護モード: 無	戦功 🖓 🍷 🤇	💐 100% 👻 🎵



[Disable Pair] を選択するとバックアップ データのアクセスで権限が足りず、Disaster Recovery Option の惨事復旧処理が進められません。必ず [Delete Pair] を選択してください。

## 6.2 バックアップ サーバの復旧処理

#### 6.2.1 <u>復旧メディアからブート</u>

CD/DVD ドライブに復旧メディアをセットし、Disaster Recovery Option の復旧メディアを使ってマシンをブートします。

ハードディスクにシステムがすでに入っている場合は、"Press any key to boot from CD or DVD.." のメッセージが表示されるため、何かキーを押します。





## 6.2.2 <u>言語の選択</u>

日本語を選択し、[次へ]をクリックします。

ARCSONO BACKUP	-		technologies
	Foolish	_	
	日本語 日本語		
*	キーボードのレイアウト:		
	日本語	<b>v</b>	11
			15 /
			次へ(11)

## 6.2.3 <u>ネットワークの設定</u>

画面左下に表示されている IP アドレスを確認し、リカバリサイトの DATA DOMAIN と通信できない IP アドレスが設定されている場合は、手動で IP アドレスを指定します。

	UP				technologies
CA ARCserve Backup Disaster Recovery (DR) - DR 情報を選択する	- 以下のオブションから ・ 任意の場所から	> 1 つ選択して DR 情報な DR 情報を選択する	き指定してください	<i></i>	
DR 情報紙:元のシンステムの緊急データが保存されました。 DR 情報紙: フロッピー ディスク、 いました。 DR 情報は、 フロッピー ディスク、 USB メモリ、またはリモート共有フォルダから選 択することができます。	○ バックアップ サーバ ×¥	/復旧情報の複製先の C	)R 情報を選択	42 ~	<b>⇒</b>
ネットワーク、バックアップ サーバ、または複製先 から DR 情報を選択するには、リモート共有パ スまたはバックマップ サーバ名を入力して Enter	指定した場所のリスト	が表示されます			
ネーを押します。リモート共有フォルダへのアクセ スには、ユーザ名とパスワードを入力する必要 がある場合があります。	名前  Program Files	更新日時 2012/07/25 22:14:26 2012/07/25 22:14:26	OS	プラット	バックアップ サ
リモート共有フォルダの参照に失敗する場合、 NIC ドライパがインストールされていないこと、ま たは IP アドレスが正しくないことが原因である 場合があります。必要な場合、以下を実行で きます。	Program Fries ProgramData Users Windows	2012/07/25 21:26:51 2012/07/25 22:14:25 2012/07/25 22:14:25 2013/04/25 21:52:42			
Microsoft Hyper-V Network Adapter - IP アドレス: 169254220226 - 2テーカフ: 接体:宮み く					
▲ ユーティリティ( <u>U</u> )	1			次へ(N)	中止( <u>A</u> )

(ア) ネットワークの設定

IP アドレスを指定するため、画面左下の [ユーティリティ] をクリックし、[ネットワークの設定] を選択します。

きます		011		
Ι.	トフィハのロートユーティリティ	Ctrl+L		
	ネットワークの設定	Ctrl+N		
	iSCSI 環境設定	Ctrl+I		
	アクティビティログ	Ctrl+A		
	トラブルシューティング	Ctrl+T		
	実行	Win+R		
	ユーティリティ(山)		次へ(N)	中止(A)

(イ) IP アドレスの入力

リカバリサイト内の DATA DOMAIN と通信可能な IP アドレスとサブネット マスクを入力し、[OK] をクリックします。

A ARCserve Backup [		クの設定 📃	×
Recovery (DR) - DR 情報を選択する	ネットワーク アダプタを選択し、以下の設定を行	ってください	
)R 情報に元のシステムの緊急	Microsoft Hyper-V Network Adapter	✓ 更新(R)	
しました。DR 情報は、フロッピ ISB メモリ、またはリモート共有 Rすることができます。	○ IP アドレスを自動的に取得する ● 以下の IP アドレスを使用する:		
いいししん バックマップ サーバ	IP アドレス:	192 . 168 . 10 . 201	
ら DR 情報を選択するには、	サブネット マスク:	255 . 255 . 255 . 0	
、またはバックアップ サーバ名を Fーを押します。リモート共有フ ! には. ユーザタンパスロードな	デフォルト ゲートウェイ:	0.0.0.0	プラット バックアップ サ
がある場合があります。	■ DNS サーバ アドレスを自動的に取得する ■ い下の DNS サーバ アドレスを使用する。		
モート共有フォルダの参照に匀 JIC ドライバがインストールされ	優先 DNS サーバ:	0.0.0.0	
は IP アドレスが正しくないこと 易合があります。必要な場合、	代替 DNS サーバ		
ほす。	接続状態		1
፲፱፻፵፻፵፻፵፻፵፻፵፻፵ ፲ መወネットワーク アダプタ		ータス: 接続済み g: 4294 Mbps	
ilioropoft Huper=V Network			

## 6.2.4 <u>復旧情報の参照</u>

リカバリサイトに複製した惨事復旧情報にアクセスします。

(ア) リカバリサイトの DATA DOMAIN のパス指定

[任意の場所から DR 情報を選択する] が選択された状態で、リカバリサイトの DATA DOMAIN の惨事復 旧用フォルダ (<u>¥¥リカバリサイトの DATA DOMAIN の IP アドレス¥backup¥replica¥msd</u>)を指定し、右矢印 ボタンをクリックします。



## (イ) DATA DOMAIN のアカウント指定

DATA DOMAIN の sysadmin アカウント情報を入力します。

ARCSOVE	ACKUP	technologies
CA ARCserve Backup Disaster Recovery (DR) - DR 情報を運動する DR 情報に元のシステムの緊急データが れました。DR 情報は、フロッピーディス? USB メモリ、またはリモート共有フォルダオ	<ul> <li>▲ -以下のオブションから 1 つ違択して DR 情報を指定してください。</li> <li>● 任意の場所から DR 情報を違訳する</li> <li>● パックアップ サーバイ割日情報の複製先の DR 情報を違訳する</li> <li>&gt; パックアップ サーバイ割日情報の複製先の DR 情報を違訳する</li> </ul>	5
択することかできます。 ネットワーク、バックアップ サーバ、またはオ から DR 情報を選択するには、リモート スまたはパックアップ サーバ名を入力して キーを押します。リモート共有フォルダへへ スには、ユーザ名とパスワードを入力する がある場合があります。	Windows セキュリティ            次の接続先用のユーザ名とパスワードを入力してください: ¥¥192.168.10.2324backup¥replica¥msd¥	マープラット バックアップ サ
リモート共有フォルダの参照に失敗する。 NIC ドライパポインストールされていない たは P アドレスが正くないことが原因 場合があります。必要な場合、以下を想 きます。 	2-ザ名の形式: <マジン名>¥<2-ザ名> OK(0) キャンセル(0 	
Microsoft Hyper-V Network Adapte - IP アドレス: 192.168.10.201 - フキーレス: 協感溶み、 く ユーティリティ(リ)	<b>,</b>	次へ(19) 中止(4)

(ウ) 復旧マシン (バックアップ サーバ) フォルダの選択

惨事復旧フォルダが表示されたら、バックアップ サーバのコンピュータ名が付いたフォルダをダブルクリック で選択します。

600	2			11-2	
ARC Seve BACK	UP				technologies
CA ARCserve Backup Disaster Recovery (DR) - DR 情報者選択する	−以下のオブションから ● 任意の場所から [	1 つ選択して DR 情報核 DR 情報を選択する	も指定してください――――		
DR 情報紙に元のシステムの緊急データが保存さ れました。 DR 情報紙、 フロッピー ディスク、 USB メモリ、またはリモート共有フォルダから選	○ バックアップ サーバ	/復日情報の複製先の [	DR 情報を選択する		
択することができます。	퉬 ¥¥192.168.10.2	32¥backup¥replica¥mso	l¥	~	
ネットワーク、 バックアップ サーバ、または複製先 から DR 情報を選択するには、 リモート共有パ フキたけバックアップ サーバタを み カレス Forter	指定した場所のリストオ	が表示されます			
キーを押します。リモート共有フォルダへのアクセ	名前	更新日時	OS	プラット	バックアップ サ
人には、ユーサ名とバスリードをヘブリする必要 がある場合があります。	DRPATCH.W2	2013/08/20 8:06:21 2013/08/20 8:06:21			
リモート共有フォルダの参照に失敗する場合、	DRPATCH XP	2013/08/20 8:06:21 2013/08/20 8:06:21	Windows Server 2008	~64	STRG14304
NIC ドライバがインストールされていないこと、または IP アドレスが正しくないことが原因である	STRG14305	2013/08/20 8:06:22	Windows Server 2008	×64	STRG14304
場合があります。必要な場合、以下を実行で きます。					
1 個のネットワーク アダプタが検出されまし ^ 					
Microsoft Hyper-V Network Adapter - IP アドレス: 192.168.10.201 - フテークフ: 線徳湾み、 ダ					
▲ ユーティリティ(1)			次へ(N)		中止(A)

#### [次へ]をクリックします。



#### 6.2.5 レジストリ情報の編集

惨事復旧情報にはレジストリ情報が含まれ、バックアップ装置の情報が入っています。障害が発生したサイトにある DATA DOMAIN にアクセスできないため、テープ エンジン サービスの起動が失敗となります。

(テープ エンジン サービスが起動できる場合でも、リカバリサイトで惨事復旧を実施するため、この後のレジストリ 編集ステップを行います。)



(ア) 実行メニューの起動

画面左下の [ユーティリティ] をクリックし、[実行]を選択します。

きます	<b>ਰ</b> 。	
	ドライバのロード ユーティリティ	Ctrl+L
	ネットワークの設定	Ctrl+N
	iSCSI 環境設定	Ctrl+I
	アクティビティ ログ	Ctrl+A
	トラブルシューティング	Ctrl+T
	実行	Win+R
	ユーティリティ(リ)	

(イ) レジストリエディタの起動

名前に regedit と入力し、[OK] をクリックします。

	実行	<u></u> → +×.23×. #.		しましたが、環境設定の必	要なリモート デバイスがあり	ます。
	プログラムの名前を入力します			レてバックアップ データが処	理されます。	
名前:	regedit		~			
	OK(O)	キャンセル(O) 参照	≅(B)			
<b>▲ ユ</b> ーテ	ℯ℩リティϢ			戻る( <u>B</u> )	次へ( <u>N</u> )	中止(A)

(ウ) 1つ目のファイル システム デバイス該当キーへの移動

HKEY\_LOCAL\_MACHINE を展開し、更に以下のフォルダまで順次展開します。

SOFTWARE¥ComputerAssociates¥CA ARCserve Backup¥Base¥TapeEngine¥FSDSetup¥RM1



(エ) ファイル システム デバイスのパス変更

RM1 の中にある DosDeviceName をダブルクリックし、障害サイトにあるファイル システム デバイスからリカ バリサイトにあるファイル システム デバイスに値を変更します。

障害サイト:本ガイドでは、¥¥障害発生サイトの DATA DOMAIN の IP アドレス¥arcserve¥fsd1

文字列の編集	x
値の名前(N):	
DosDeviceName	
値のデータ(V):	
¥¥192.168.10.231¥arcserve¥fsd1¥	
OK         キャンセル	

リカバリサイト:本ガイドでは、<u>¥¥リカバリサイトの DATA DOMAIN の IP アドレス¥backup¥replica¥fsd1</u>

文字列の編集	<b>—</b> ×
値の名前(N):	
DosDeviceName	
値のデータ(V):	
¥¥192.168.10.232¥backup¥replica¥fsd1¥	
ОК	キャンセル

(オ) DATA DOMAIN の IP アドレス変更

同じくRM1の中にあるHostIPをダブルクリックし、障害サイトにあるDATA DOMAIN からリカバリサイトにあるDATA DOMAINのIP アドレスに変更します。

ト要求が表示され、処理が継続できなくなります。 パスや IP アドレスが間違いないかよく確認します。

値の名前(N)・			
HUSLIF			
値のデータ(V):			
192.168.10.231			
	ок	キャンセル	
-			1
	文字列の編集	×	
値の名前(N):			
HostIP			
値のデータへへ・			
値のデータ(V):			
値のデータ(V): 192.168.10.232			
値のデータ(V): 192.168.10.232	ок	キャンセル	

(カ) 2つ目のファイル システム デバイスの修正

RM1 の下にある RM2 フォルダに移動し、前述(エ)と(オ)のレジストリをリカバリサイトにある 2 つ目のファイ ル システム デバイスの情報に書き換えます。

DosDeviceName: <u>¥¥リカバリサイトの DATA DOMAIN の IP アドレス¥backup¥replica¥fsd2</u> HostIP: リカバリサイトにある DATA DOMAIN の IP アドレス

他にもファイル システム デバイスがある場合は、同様に DosDeviceName と HostIP を書き換えます。

(キ) レジストリエディタの終了

編集内容を確認後、右上の×をクリックし、レジストリエディタを終了します。

#### 6.2.6 <u>テープ エンジン サービス再起動</u>

編集したレジストリを有効にするため、Ctrl + M もしくは画面下部にある <u>ここをクリック</u> をクリックし、テープ エンジ ン サービスを再起動します。

	٧P	3110		technologies
CA ARCserve Backup Disaster Recovery (DR)	環境設定リス	k		再スキャン(R)
	ステータス	環境設定		
ウィザードでは現在の環境のチェックを支援します。	🎽	ASDB #25## Client Agent サービス	UR 処理を続けするには環境設定 サービスが正常に開始しました	E7か必要です
各項目をクリックすると説明が表示されま す。'caroot' パスワード、ASDE 記録単情報などの 情報を指定する必要がある場合もあります。	8	テープ エンジン サービス	サービスの開始に失敗しました。D	R 処理を続行するには環境
	<			>
	<u>ここをクリック</u> ま ト キーを押し(	たは、Ctrl + M キーを押してテ・ いモート デバイスの環境設定を	ーブ エンジン サービスを再起動します。 確認します。	<u>ここをクリック</u> または、 Ctrl +
	テープ エンジン	/ サービスが開始しましたが、環境	境設定の必要なリモート デバイスがあり	ます。
	テープ エンジン	/ サービスを使用してバックアップ	データが処理されます。	
▲ ユーティリティ( <u>U</u> )		戻る	(B) 次へ(N)	中止④

リカバリサイトの情報でテープ エンジン サービスが起動します。

[次へ]をクリックし、バックアップ データからのリストア ステップに進みます。

					technologies
CA ARCserve Backup Disaster Recovery (DR)	環境設定リス	×			再スキャン(R)
- 70774 F 7199	ステータス	環境設定	言羊糸田		
目的の DR 処理が問題なく実行されるよう、DR ウィサードでは現在の環境のチェックを支援します。 各項目をクリックすると説明が表示されま オートマロット パクロード ASDE PSPEはませたどの		ASDB 認証 Client Agent サービス テープ エンジン サービス	DR 処理 サービス; サービス;	想を続行するには環境設定 が正常に開始しました が正常に開始しました	が必要です
	<				>
	<u>ರ್ದಹರಿಗಿಳಿರಿ</u> ಕ ನ-ರೆ ಸುಲೆಂ	たは、Ctrl + M キーを押してテ <sup>、</sup> が正常に起動しました。	ープ エンジン・	サービスを再起動します。	
	テープ エンジン	/ サービスを使用してバックアップ	データが処理	されます。	
			and the second		
▲ ユーティリティ(山)		戻る	(B)	次へ(N)	中止(A)

## 6.2.7 バックアップ データからのリストア

リカバリサイトに複製された DATA DOMAIN の惨事復旧情報を使っているため、最新のバックアップ情報が表示されます。リストセッション リストを確認し、そのまま [次へ] をクリックします。

CA ARCser リストア対象	ve Ba	icku 1924	p Disaster Recovery 法選択する	(DR)			technologi
リストア対象セッシ	ョンを遠	観沢し	.ます:				
セッション番号			セッション名	セッションの種類	テープ名	ランダム ID	シーケンス番号
🗸 💐 1	8?	্ৰে	С	フル (アーカイブ ビ	DATA DOMAIN1	8A7E	1
🗸 🐋 13	8?		С	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
🗸 👟 24	8?		С	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
🖌 👟 2	8?	য়ে	E	フル (アーカイブ ビ	DATA DOMAIN1	8A7E	1
🗸 🔄 14	8?		E	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
🗸 👟 25	8?		E	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
🖌 👟 26	8?	য	システム状態	フル (アーカイブ ビ	DATA DOMAIN1	8A7E	1
🗸 👟 11	8?	ে	SQL DR エレメント	フル	DATA DOMAIN1	8A7E	1
🗸 👟 9	8?	ে	ジョブ キュー	フル (アーカイブ ビ	DATA DOMAIN1	8A7E	1
🗸 💐 21	8?		ジョブ キュー	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
✓ 🧠 32	<mark>%</mark> ?		ジョブ キュー	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
<							>
n tovia	ンパス	<u>ס-ו</u>	*を入力するには、 セッション	を選択して Ctrl + P キーを	押します。 セッションをスキャ	ン/置換するには、Ctrl +	S キーを押します。
$\checkmark$							
							and the second second
サマリ情報の画面が表示されます。そのまる	ξ [開始] をクリックします	-。					
----------------------	-----------------	----					
----------------------	-----------------	----					

		セッション リス	トアのサマリ		×	-
以下のリスト	ア対象セッションが選折	されました。選択内容	容を確認し、[開始] を夘	リックしてデータ回復	夏を開始してください	: /ተ`/7:
ヤッション	ヤッション名	ヤッションの	テープ名	ランダム ID	シーケンス番 ^	
i ⊂77325	0	711. (77–11	DATA DOMAIN1	947F	1	
<b>a</b> 13	° °	リカレマン 55 通分	DATA DOMAIN1	8A7E	1	
24	č	· 冒力 増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1	
2	F	フル (アーカ	DATA DOMAIN1	8A7E	1	
i 14	E	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1	
25	E	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1	
in ne	217 = 14469	<b>DU (77. 4</b>	DATA DOMAINI	0.075	1 V	
				PR4 (a)	to a loss (m)	1
				開始(S)	キャンセル(C)	

惨事復旧情報に入っているパーティション情報を使ってバックアップ サーバの区画が割り当てられます。フォーマット後に自動的にリストアに進みます。

リストア後に自動再起動をする場合は、そのまま処理が完了するのを待ちます。手動再起動をする場合は、画面下部にある[すべてのセッションが正常にリストアされたら自動的に再起動する]のチェックを外します。(このチェックはリストア中であればいつでも外せます。)

ARCserve Ba ストア処理を現 ニージにはデータ回	nckup Disaster Reco <b>加する</b> 可復の進捗状況が表示され	very (DR) ਪੁੜਤੁ			
セッション番号	セッション名	セッションの種類	テーブ名	ランダム ID	シーケンス番号
l	С	フル (アーカイブ ビッ	DATA DOMAIN1	8A7E	1
a 13	С	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
3 24	С	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
2	E	フル (アーカイブ ビッ	DATA DOMAIN1	8A7E	1
si 14	E	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
<b>a</b> 25	E	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
リュームをフォーマ	アットしています。お待ちくださ	5C1			
]すべてのセッショ	心が正常にリストアされたら	自動的に再起動する(T)			
7-L#	リュームを現在のデフティネ	ディッシュディスカ 0 (コリストアレアル)	ます。このディスカからシステル	を起動してください。	
1 / E / S	リュニム かれれたりけ スナイイ	ニンヨノ ナイスタ せんサストアししい	は9。このチィスクルウンスチム	4.2005単灯していたでいる	

## 6.2.8 <u>ARCSERVE データベースの回復処理</u>

リストア完了後、起動してきた OS にログオンするとデータベース回復ウィザードの画面が表示されます。リカバリ サイトの IP アドレスに変更するため、データベース回復ウィザードは一旦キャンセルします。(キャンセルしないと Windows のスタート メニューが表示されません。)



(ア) IP アドレスの変更

ネットワークの設定で復旧したバックアップサーバのIPアドレスをリカバリサイト用のアドレスに変更します。 DNS がある場合は、DNS にも登録しておきます。

(イ) データベース回復ウィザードの起動

OS のスタート メニューから [CA] – [CA ARCserve Backup] – [データベース回復ウィザード] と辿り、起動します。

🏉 Internet Explorer (64 분ット) 📃 🔺		
🟉 Internet Explorer		
🔄 Windows Update		
📙 CA		
🍌 ARCserve Backup	<b></b>	
🙈 Backup Agent 管理	Administrator	
🛒 Microsoft SQL Agent アカウント環北	1996 - J.N. J.	
🔀 サーバ環境設定ウィザード	TUXIT	
🛺 ジョブ スケジューラ ウィザード		
🔚 データベース回復ウィザード		
😂 デバイス ウィザード	2	
🥁 デバイス グループ環境設定	*9F2 - 2	
🀇 デバイス環境設定		
🏷 ブートキット ウィザード		
🕲 דבדא	デバイスとづいっかー	
🔞 マニュアル環境設定	57117C7357	
1000 マネージャ	管理ツール ▶	
🧼 レポート ライタ		
🔤 診断ウィザード	ヘルプとサポート	
💋 診断レポート マネージャ		
📔 Microsoft SQL Server 2008 📃 🖃	ファイル名を指定して実行…	
■ 則に戻る		
プログラムとファイルの検索	ログオフ 🕨	
·		
🎝 スタート 🏭 🗾 🚞		

(ウ) OS アカウントの指定

OS アカウントを指定し、[次へ] をクリックします。

晶CA ARCserve Backup データベース回復ウィザード	×
認証 ローカル管理者権限のある Windows アカウントを指定しま	technologies
ARCserve データベース サーバの Windows 認証 ARCserve データベースが配置されているサーバ用の Wi ローカルの管理者権限が必要です。	ndows 認証情報を指定します。この認証情報には
ARCserve データベースが配置されているサーバ:	STRG14304
<ドメイン>¥<アカウント>( <u>D</u> ):	Administrator
パスワード( <u>P</u> ):	******
SQL Server Agent 認証モード	
AROserve データベースに SQL Server 認証が必要な場 ルドに入力します。	場合、[SQL Server 認証] をオンにして必要なフィー
⊙ Windows 認調()	
C SQL Server [2][E(S)	
ログオン ID( <u>L</u> ):	
パスワード( <u>A</u> ):	
L	
	次へ(N) > キャンセル(C)

(エ) CAROOT のパスワード指定

caroot のパスワードを指定し、[OK] をクリックします。

📙 CA ARCserve Backup データベース回復ウィザード
認証 ローカル管理者権限のある Windows アカウントを指定します。
ARCserve データベース サーバの Windows 認証         ARCserve データベースが配置されているサーバ用の Windows 認証情報を指定します。この認証情報には         ローカルの管理者         Caroot 認証         ARCserve :         ARCserve :         イドメインンギベ         指定された Windows アカウントには、caroot と同等の権限があ りません。ARCserve データベースの回復には、caroot パスワードを指定してださい。         CAROOT のパスワードを入力してください:         SQL Server Agent         ARCserve データ         のK(0)         キャンセル(C)         のK(0)         チャンセル(C)         パスワード(A):
次へ(N) > キャンセル(O)

(オ) デバイス環境設定の起動

ファイル システム デバイスの情報が障害サイトの DATA DOMAIN になっているため、[デバイス環境設定] をクリックし、ファイル システム デバイスのパスとアカウント情報を変更します。

バックアップ時間	テープ名	シリアル番号	/ バックアップ方式	バックアップ サーバ
	DATA D		差分	STRG14304
	DATA D		差分	STRG14304
	DATA D		フル	STRG14304
2013-08-10 00:19:48	DATA D		差分	STRG14304
	DATA D		フル	STRG14304
<b> </b> •				•

[デバイス環境設定] 画面にて [ディスク ベース デバイス] を選択し、[次へ] をクリックします。

	📙 CA ARCserve Backup データベース回復ウィザ		×
🌋 デバイス環境語	定		×
<b>デバイス環境</b> デバイス環	<b>发定へようこそ</b> 境設定ウィザードは、サーバ上のバックアップ デバイスの環境	設定を行うために必要な手順をご案内します。	technologies
以下のオフ	ションから1つ選択してください。		
0 <del>7</del> -	プ ライブラリ(T)	○ クラウド ベース デバイス(C)	
O RA	ID デバイス(1)		
○ 仮想	思ライブラリ(V)		
<ul> <li>ディ</li> </ul>	スク ベース デバイス(A)		
C UN	DK/Linux Data Mover(U)		
		< 戻る(B) <b>次へ(N) &gt; 終了(X)</b>	

デバイス環境設定を操作するため、再度 ARCserve Backup の管理アカウント (caroot)を指定し、[次へ] をクリックします。

🔛 CA ARCserve Backu	テータベース回復ウィザード			×	
🏶 デバイス環境設定					×
ログオン サーバ サーバを選択してから、適切なユーザ名とパ	スワードを入力してください。				technologies
CA ARCserve Backup プライマリ サ	ーバを選択してください:				
ドメイン名(D):	STRG14304				
プライマリ サーバ名(S):	🗐 STRG14304	•			
ドメイン ユーザ名とパスワードを入力	ってください:				
記言正の種業類(A):	CA ARCserve Backup 認証	•			
ユーザ名(U):	caroot				
パスワード(P):					
□ 現在の Windows ユーザ □ この情報を保存する(R)	としてログイン(L)				
継続する(こは、〕次へ] をクリックします	,				
		< 戻る(B)	次へ(N) >	終了(X)	~JIJ
			7X7 K <u>IN</u> 7 7	447000	

ログオン サーバの画面でそのまま [次へ] をクリックします。

(カ) ファイル システム デバイスのパス変更

2 つのファイル システム デバイスのパスを障害発生サイトからリカバリサイトの DATA DOMAIN に変更します。FSD1 および FSD2 の [データ ファイルの場所] をクリックし、パスを書き換えます。

(DATA DOMAIN に作成した複数のファイル システム デバイスで ARCserve Backup の並列処理を実施 する場合は、前述 2.1.2 の方法で先にリカバリサイトの DATA DOMAIN で各ファイル システム デバイスの データ格納先フォルダに共有を設定し、作成した共有フォルダをパスに指定します。)

¥¥障害発生サイトの	DATA	DOMAIN	の IP	アドレス¥arcserve¥fsd1
¥¥障害発生サイトの	DATA	DOMAIN	のIP	アドレス¥arcserve¥fsd2

## <u>¥¥リカバリサイトの DATA DOMAIN の IP アドレス¥backup¥replica¥fsd1</u> ¥¥リカバリサイトの DATA DOMAIN の IP アドレス¥backup¥replica¥fsd2

CA ARCser	ve Backup データベース回復ウィザード			×
🌋 デバイス環境設定				×
<b>ディスク ベース デバイス環境設</b> 定 ディスクにバックアップするには、う	<b>を</b> ディスク ベース デバイスの環境設定を実行してく	(ださい。		technologies
ディスク ベース デバイス:		追加(A)	<u>削</u> 協余(R) セキ:	1リティ(S)
デバイス名 詳細	データファイルの場所	インデックス つ	ファイル グループ名  テーブ名	ボリューム
Windows J71 J J XTL	7/17			
FSD1 記明 1	¥¥192.168.10.231¥arcserve¥tsd1¥		DD1	
☐ FSD2 訳明 2	¥¥192.168.10.231¥arcserve¥fsd2¥		DD2	
	•			
•				Þ
		< 戻る(B)	次へ(N)> 終了(X)	<u> へルプ</u>
			שאטכירי ישאא	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			<u>u</u> l
L CA ARCserv 条 デバイス環境設定	ve Backup データベース回復ウィザード		l	×
	ve Backup データベース回復ウィザード E ディスク ベース デバイスの環境設定を実行してく	ださい。		× technologies
CA ARCsen     デバイス環境設定     ディスクベース デバイス環境設立     ディスクにバックアップするには、ラ     ディスク ベース デバイス:	ve Backup データベース回復ウィザード E ディスク ベース デバイスの環境設定を実行してく	ださい。 道加(A)		X X technologies
CA ARCserver  Sector CA ARCserver  CA ARC	ve Backup データベース回復ウィザード E ディスク ベース デバイスの環境設定を実行してく データ ファイルの場所	ださい。 	  「削除(R) 」 「サックス ファイル」 グループ名	X X X technologies ロリティ(S) テーブ名
CA ARCserr     デバイス環境設定     ディスク ベース デバイス環境設定     ディスクにパックアップするには、ラ     ディスク ベース デバイス:     デバイス名 [詳細 回 Windows ファイル システム	re Backup データベース回復ウィザード E ポイスク ベース デバイスの環境設定を実行してく データ ファイルの場所 デ バイス	ださい。 <u>追加(A)</u> イン	  デックス ファイル   グループ名	×」 メ」 より ティ(S)… デーブ名
<ul> <li>CA ARCsert</li> <li>ディスワ ベース デバイス環境設定</li> <li>ディスク ベース デバイス環境設定</li> <li>ディスク ベース デバイス:</li> <li>デバイス名 詳細</li> <li>Windows ファイル システム</li> <li>Windows ファイル システム</li> <li>ア501 説明 1</li> </ul>	re Backup データベース回復ウィザード E ディスク ベース デバイスの環境設定を実行してく データファイルの場所 デ Kイス ¥¥192.168.10.232¥backup¥replica¥fsd1	ださい。 <u>通加(A)</u> イン ¥	「	×」 ×」 2リティ(S) テーフ名
	re Backup データベース回復ウィザード E ディスク ベース デバイスの環境設定を実行してく データ ファイルの場所 デ <mark>ゲイス ¥192.168.10.232¥backup¥replica¥fsd1</mark> ¥¥192.168.10.232¥backup¥replica¥fsd2	ださい。   ¥ ¥	削除(R) デックス ファイル   グループ名 DD1 DD1	×」 × technologies コリティ(S) テーク名
CA ARCserr     ディスタ ベース デバイス環境設定     ディスク ベース デバイス環境設定     ディスク ベース デバイス環境設定     ディスク ベース デバイス:     デバイス名 詳細     Windows ファイル システム     シ FSD1 説明 1     シ FSD2 説明 2     デデュプリケーション デバイス	re Backup データベース回復ウィザード ディスク ベース デバイスの環境設定を実行してく データ ファイルの場所 デ バイス ¥¥192.168.10.232¥backup¥replica¥fsd1 ¥¥192.168.10.232¥backup¥replica¥fsd2	ださい。	 削除(R) セキ: デックス ファイル   グループ名 DD1 DD1	×
CA ARCserr     ディスク ベース デバイス環境設立 ディスク ベース デバイス環境設立 ディスク ベース デバイス環境設立 ディスク ベース デバイス: デバイス名   詳細 Windows ファイル システム Windows ファイル システム PSD1 説明1 で FSD2 説明 2 デデュプリケーション デバイス	re Backup データベース回復ウィザード E ディスク ベース デバイスの環境設定を実行してく データ ファイルの場所 デ <mark>ゲース ギギ 192.168.10.292¥backup¥replica¥fsd1</mark> ¥¥ 192.168.10.292¥backup¥replica¥fsd2	ださい。 <u> 通知(A)</u> イン ¥ ¥	「	×
CA ARCserver     CA ARCserver     ディスク ベース デバイス環境設定     ディスク ベース デバイス環境設定     ディスク ベース デバイス:     デバイス名   詳細     Windows ファイル システム     Vindows ファイル システム     PSD1 説明 1     OFSD2 説明 2     デデュプリケーション デバイス	re Backup データベース回復ウィザード E ディスク ベース デバイスの環境設定を実行してく データ ファイルの場所 デ <mark>バイス ¥¥192.168.10.232¥backup¥replica¥fsd2</mark>	ださい。 <u>追加(A)</u> イン ¥ ¥	「 削除(R) セキ: デックス ファイル グループ名 DD1 DD1	×   X technologies ユリティ(S)   テーフ名
CA ARCserv     CA ARCserv     ディスクベース デバイス環境設立     ディスクベース デバイス環境設立     ディスクバース デバイスに     デバイス名      詳細     「ゲバス名      詳細     Windows ファイル システム     ◇ FSD1 現明1     ◇ FSD2 説明2     デデュプリケーション デバイス	re Backup データベース回復ウィザード E ディスク ベース デバイスの環境設定を実行してく データ ファイルの場所 デ Kイス ¥1192.168.10.232¥backup¥replica¥fsd1 ¥1192.168.10.232¥backup¥replica¥fsd2	ださい。 <u>注意加(A)</u> イン ¥ ¥	 肖ᆙ除(R) セキ: デックス ファイル   グループ名 DD1 DD1	×」
<ul> <li>CA ARCsert</li> <li>ディスタ ペース デバイス環境設立 ディスク ペース デバイス環境設立 ディスク ペース デバイス</li> <li>ディスク ペース デバイス:</li> <li>デバイス名 [詳細 □ Windows ファイル システム ◎ FSD1 説明1 ◎ FSD2 説明2</li> <li>デデュプリケーション デバイス</li> </ul>	Ye Backup データベース回復ウィザード E <sup>2</sup> イスク ベース デバイスの環境設定を実行してく データ ファイルの場所 デ ドイス ¥¥192.168.10.282¥backup¥replica¥fsd1 ¥¥192.168.10.282¥backup¥replica¥fsd2	ださい。 〕追加(A) イン ¥ ¥		×」 、 、 エリティ(S)… テーフ名 ・ ・
CA ARCserv  CA	Ye Backup データベース回復ウィザード E <sup>4</sup> イスク ベース デバイスの環境設定を実行してく データ ファイルの場所 デ ドイス ¥¥192.168.10.232¥backup¥replica¥fsd1 ¥¥192.168.10.232¥backup¥replica¥fsd2	ださい。 <u> うき加(A)</u> イン ¥ ¥		×
<ul> <li>CA ARCsert</li> <li>ディスタ ペース デバイス環境設立 ディスク ペース デバイス環境設立 ディスク ペース デバイス:</li> <li>デバイス名 [詳細 □ Windows ファイル システム ◎ FSD1 説明1 ◎ FSD2 説明2</li> <li>デデュプリケーション デバイス</li> </ul>	Ye Backup データベース回復ウィザード E <sup>2</sup> イスク ベース デバイスの環境設定を実行してく データ ファイルの場所 デ ドイス ¥¥192.168.10.232¥backup¥replica¥fsd1 ¥¥192.168.10.232¥backup¥replica¥fsd2	ださい。 <u> うき加(A)</u> イン ¥ ¥ *	 一 ずックス ファイル 「グループ名 」 DD1 DD1	×」 でこのでは、 はたわいはgies コリティ(S)… テーブ名 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
CA AROsern  CA	re Backup データベース回復ウィザード ディスク ベース デバイスの環境設定を実行してく データ ファイルの場所 デ バイス ¥¥192.168.10.232¥backup¥replica¥fsd1 ¥¥192.168.10.232¥backup¥replica¥fsd2	ださい。	 デックス ファイル   グループ名  DD1  	×」 ででのでのでは、 まりティ(S)… デーブ名 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

(キ) リカバリサイトの DATA DOMAIN のアカウント指定

FSD1 を選択した状態で、[セキュリティ] ボタンをクリックします。

[ドメイン] の項目をリカバリサイトの DATA DOMAIN の IP アドレスに書き換えます。 同様に FSD2 を選択した状態で、[セキュリティ] ボタンをクリックし、[ドメイン] の項目を書き換えます。

セキュリティ	× セキュリティ	×
ファイル システム デバイスのアクセス アカウントを指定します。	ファイル システム デバイスのアクセス アカウントを指定します。	
└─ ARCserve システム アカウントを使用(A) (デフォルト)	□ ARCserve システム アカウントを使用(A) (デフォルト)	
ユーザ名(U): sysadmin	ユーザ名(U): sysadmin	
ドメイン(D): 192.168.10.231 💌	ドメイン(D): 192.168.10.232 ・	
パスワード(P): ********	パスワード(P): <b>*******</b>	
パスワードの確認(N): ********	パスワードの確認(N): <b>*******</b>	
OK キャンセル	OK キャンセル	

(ク) デバイス環境設定の終了

すべてのファイル システム デバイスで DATA DOMAIN の IP 編集後、[次へ] ボタンをクリックします。 その後、確認画面で [終了] ボタンをクリックします。

La CA ARGserve Backup データベース回復ウィザード	
※ デバイス環境設定	×
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	technologies
ディスク ベース デバイスを以下のように設定しました:	
「デバイス名」「詳細」「データファイ」インデックス」グループ名「テーブ名」 レポート □ Windows ファイル システム デバイス	
💕 FSD1 説明1 ¥¥192.168.1 DD1 DATA D 更新 - 成功	
□ FSD2 説明2 ¥¥192.168.1 DD2 DATA D 更新 - 成功	
< 戻る(B) 次へ(N) > 終了(X) / /	

(ケ) バックアップ データ選択

リストにある復旧ポイントから、一番新しいバックアップ時間のデータを選択し、[次へ]をクリックします。(差分バックアップの場合は、関連するフルバックアップのデータも一緒に選択されます。)

A ARCserve Backup デ	ータベース回復ウ	ィザード			
<b>ストア ボイント</b> 以下のテーブルには、ARCs Iその他の復日ポイント]をク ポイントを取得できます。	serve データベース フリックすると、バック	で使用できる復旧 アップ メディアをスジ	ポイントが表示されています。 Fャンしてその他の復日	technolog	
バックアップ時間	テープ名	シリアル番号	バックアップ方式	バックアップ サール	
2013-08-20 23:55:26	DATA DOMA		差分	STRG14304	
	DATA DOMA		差分	STRG14304	
2013-08-18 00:18:24	DATA DOMA		フル	STRG14304	
	DATA DOMA		差分	STRG14304	
	DATA DOMA		フル	STRG14304	
•					
Eの他の「割日ポインド(M) デバイス環境設定(D)     Eケハ」をクリックすると、選択したセッションから ARCserve データベース回復を開始します。					
			< 戻る( <u>B</u> ) / 次へ( <u>N</u> ) )	> <u>キャンセル(C)</u>	



デフォルトの ARCserve データベースを利用している場合、増分バックアップ未対応のデ ータベース形式で構成されているため、増分バックアップでスケジュールを作成しても ARCserve データベース部分では差分バックアップが代わりに実施されます。 (コ) 回復処理の完了

ARCserve データベースの回復処理が完了したら、[完了] ボタンをクリックします。

🔜 CA ARCserve Backup データベース回復ウィザード	×
ARCserve データベースの回復 データベースの回復に必要な時間は、データベースのサイズによって変わります。	technologies
2 バックアップ セッションが回復されます。 ウィザードは現在 [2013-08-20 23:55:26] をテープ [DATA DOMAIN1、8A7E、1] から回復しています。	
メッセージ	
🕥 ターゲット ディレクトリ: ¥¥STRG14304¥dbasql@ARCSERVE_DB	
🕚 フル セッション回復は完了しました。	
③ 差分 セッションは現在回復しています。	
🕚 メディア DATA DOMAIN1、ID 8A7E、シーケンス番号 1 を使用します。	
ઉ ソース セッション 34 (メディア DATA DOMAIN1 上)	
③ ターゲット ディレクトリ: ¥¥STRG14304¥dbasql@ARCSERVE_DB	
🚯 差分 セッション回復は完了しました。	
回復処理が正常に完了しました。	
🚺 ログのパス: C:¥Program Files (x86)¥CA¥ARCserve Backup¥LOG¥AsRecoverD	
	<b>-</b>
〈 戻る(B)	完了(E)

- (サ) OS 再起動(OS ログオン後に再起動要求メッセージが表示された場合のみ)OS を再起動します。
- 6.2.9 <u>バックアップ スケジュール ジョブの編集</u>

Disaster Recovery での惨事復旧後、スケジュールの調整を行います。

(ア) ジョブ ステータス マネージャの起動

ARCserve Backup のマネージャの右側にある [クイック スタート] から [ジョブ ステータス マネージャ] を クリックします。

E C	A ARCserve Backup - [木ーム]		
1	ファイル(F) クイックスタート(Q) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)		_ <del>_</del> 8 ×
<b>»</b>	🕒 🔾 🔘 😂 🚷		
ナビゲーシ		UP	technologies
E	デフォルト サーバとセキュリティ	クイック スタート	
バー	ドメイン: STRG14304 デフォルトサーバ: STRG14304	ジョブ ステータス マネージャ ショブのモニタとログのチェックを行います。	
	ユーザ名: caroot 💦	バックアップ ショブの設定とサブミナを行います。	
	デフォルトサーバまたはユーザ名の変更	アーカイブ マネージャ アーカイブ ジョブの設定とサブミナを行います。	

(イ) クラッシュ ジョブのスケジュール変更

惨事復旧処理を実施すると、ジョブキューの中に [前回の結果] が "クラッシュ" となっているスケジュー ルがあります。このスケジュールがホールド状態となっているため、日付調整とステータス変更を行います。



ARCserve Backup ではジョブ ステータスに表示されるジョブ キューのバックアップを行っ ていますが、実行中のスケジュール ジョブも対象に含まれます。惨事復旧処理により実 行中だったスケジュール キューも復旧されますが、復旧時にはジョブが終わっているため、 [前回の結果] が "クラッシュ" になります。 クラッシュとなったジョブが次回いつ動くジョブかをまず確認します。(ジョブ名から判断するか、他のスケジ ュール ジョブの実行日時などから判断します。)

次回実行する日時を確認したら、クラッシュとなったジョブ上で右クリックメニューを表示し、[ジョブの再ス ケジュール]を選択します。

📊 C	A ARCserve Backup -	ジョブ ステー	[גע											
1	ファイル(F) クイック スタート((	2) 表示(V)	ジョブ ステ	፦–ቃス(J)	ウインドウ	バW) ヘルプ	(H)							
» ナビ	STRG14304	ya⊅ • ⊘	∓-7 ⊘	DB Ø	<b>₩</b> 1-0	। : जु	آبت	<b>一</b> 再スケジュー		<ul> <li>停止</li> </ul>	- 100 カスタム…		前除	<mark>ご</mark> 更新
ゲー	E-∰ CA ARCserve Ba E-∰ STRG14304 (	ジョブ キュー	- V 9:	ョブ履歴	> Pb:	דארציא פע	>	監査ログ >						
ショ	- 🗐 STRG143	表示するジョ				💌 アクティ		💌 レディ(R		💌 ホールド	(Н) 🔽		トの待機中(型)	🔽 処理済み
5		ジョブ名 🔺		パックス	アップサ	ジョブ番号	ジョブ	ID Z	テータス	3	影行時刻	1	ジョブの種類	前回の結果
15		🔚 データベー	ス保護ジョ	ョブ STRG	14304	2			ホールド	2	013/08/09	11:	バックアップ(ロ	~
-1		📜 データベー	ス廃棄ジョ	ョブ STRG	14304	1	21		レディ	2	013/08/21	12:	データベース廃	③ 完了
		🔚 バックアッフ	り (カスタム	] STRG	14304	3	16		レディ	2	013/08/31	23: ,	バックアップ	③ 完了
		1 1 パックアップ	) [JJ.787	] STRG	14304	4			レディ	2	013/08/24	23: ,	バックアップ	
		1 1 パックアップ	የ ርአአልራ	] STRG	14304	6	19		レディ	2	013/09/01	23: ,	バックアップ	
		1 1 パックアップ	<sup>7</sup> [カスタム	] STRG	14304	14			レディ	2	013/08/26	23:	バックアップ	
		1 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	/ しカスタム	J STRG	14304	12			レディー	2	013/08/22	23: ,	バックアップ	
		1 1 パックアップ	(カスタム	J STRG	14304	17			レディー	2	013/08/29	23: ,	バックアップ	
		1 1 パックアップ	7 しカスタム	J STRG	14304	11			レディー	2	013/08/21	23: ,	バックアップ	
		1 11 パックアッフ	7 しカスタム	] STRG	14304	16			レディ	2	013/08/28	23: ,	バックアップ	
		11ックアップ	( ውንያዮ	] STRG	14304	10	22	 レディ(B)		í í	019/00/90	- 10-	1550775077	- בליידל
		11/20795	リカスタム	J STRG	14304	15								-
		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	リカスタム	J STRG	14304	13		ジョブの通	自加(A)					
		1 11 パックアップ	7 しカスタム	J STRG	14304	18		ジョブの傾	§止(M)					
++								次のブル	7390795	医作自[2]	ער ער ער	クアッフを	r 庚 f Ţ	
ボ		<u> </u>						- ソヨアの押	サスクジュー	JN(C)		_		
1.			. 7					- 叫美行((	0)					

クラッシュ状態のジョブはホールドになるため、ステータスを変更しないと実行されなくなります。[ジョブス テータス]を "レディ"に、[実行日]に次回実行日を指定し、[OK]をクリックします。



#### 6.2.10 惨事復旧情報の複製先変更

惨事復旧情報は障害発生サイトの DATA DOMAIN に複製を設定しているため、リカバリサイトの DATA DOMAIN に変更します。

(ア) リカバリサイト側の DATA DOMAIN フォルダ共有

前述 2.1.2 の方法でリカバリサイトの DATA DOMAIN に複製されている MSD フォルダに共有を設定します。

(イ) ブートキット ウィザードの起動

ARCserve Backup のマネージャの右側にある青いバーで [ユーティリティ] をクリックし、展開されたメニュ ーから [ブートキット ウィザード] をクリックします。

CA ARCserve Backup ファイル(F) クイック スター	○- 【木一ム】 ・ト(Q) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)		_
O O O 😔	8		
ARC	serve BACK	UP	technologies
デフォルト サーバと	セキュリティ	🧖 ウイック スタート	$\square$
ドメイン:	STRG14304	モニタとレポート	$\square$
デフォルト サーバ:	STRG14304	保護と回復	$\mathcal{M}$
ユーザ名:	caroot 🚟	管理	
<u>デフォルト サーバま</u>	<u>たはユーザ名の変更</u>	ユーティリティ	1
前回のバック	アップ ステータス レポート	② ジョブ スケジューラ ウィザード ジョブのスケジュールとサブミットを実行します。	
	Infractructure Viewalization		

(ウ) 複製設定の変更

画面起動後、左下にある [環境設定] ボタンをクリックします。

泰 ブートキット ウィザード		X
Disaster Recovery - ブートキット ウィサ	Ĩ~ド∧ようこそ	technologies
CA ARCserve Backup ドメインお。	はびサーバ	
ドメイン名(D):	STRG14304	
サーバ名:	STRG14304	
ドメイン ユーザ名とパスワードを入力	してください。	
記録正の種業員(A):	CA ARCserve Backup 💹	
ユーザ名(U):		
パスワード(P):		
見在の Windows ユーヤ	fとしてログイン(L)	
□ この情報版を1米仔する(R) 約%ませて(-は、 D たっ 1 たわい わしませ		
作用物でするには、レスヘ」をクリックします	1o	
環境設定(0)		次へ(N)> キャンセル(C)

リカバリサイトの DATA DOMAIN の情報と障害発生サイトから複製された惨事復旧用フォルダを指定し、 [OK] をクリックします。

複製先サーバ名: リカバリサイトの DATA DOMAIN の IP アドレス
Windows ドメイン: リカバリサイトの DATA DOMAIN の IP アドレス
ユーザ名: リカバリサイトの DATA DOMAIN の sysadmin アカウント
パスワード: sysadmin のパスワード
パス (共有名を含む): 本ガイドでは msd

パスには共有フォルダのフォルダ名のみ指定します。共有フォルダ内に複製用のサブフォ ルダを作成している場合は、¥マークを付けて続けて指定します。

復回鉄銀の雑製先						
「「「「「「「「」」」、「「」」、「「「」」、「「」」、「「」」、「」」	(リサー/ NUT気目に202要な)音報加 CA ARCiserve Backup サー/ Nc1来1そされよす。					
この「割日」情報を他の CA ARCserve Ba を作成できます。「情報を他のサーノ、に注意 [OK] をクリックしてください。	ickup サーバに複製することで、そのサーバ上でも Disaster Recovery ブートキット 設するには「割日情報の複製先」チェック ボックスをオンにし、以下の項目を入力して					
▼ 復旧情報の複製先(U)						
複製先サーバ名:	192.168.10.231					
Windows ドメイン:	192.168.10.231					
ユーザ名:	sysadmin					
パスワード						
パス (共有名を含む):	msd					
(例: C\$¥DRalternate または DRal	ternate (共有フォルダの場合))					
警告: コンピュータを惨事から復帰て	『きるように、できるだけ早くプート可能イメージを作成してください。					
	OK 終了					
治口はおふな知み						
度旧情報の検索元						
フル バックアップ完了時に、そ	のサーバの復旧に必要な情報が CA ARCserve Backup サーバに保存されます。					
この「复目目情報を他の CA ARCserve Ba を作成できます。情報版を他のサーバに複算 [OK] をクリックしてください。	ackup サーバに複製することで、そのサーバ上でも Disaster Recovery ブートキット 製するには [1項目情報の複製先] チェック ボックスをオンにし、以下の項目を入力して					
▼ 復旧情報の複製先(世)						
複製先サーバ名:	192168.10.232					
Windows ドメイン:	192.168.10.232					
ユーザ名:	sysadmin					
パスワード:	パスワード: ********					
パス (共有名を含む):	msd					
(例: C\$¥DRalternate または DRal	lternate (共有フォルダの場合))					
警告: コンピュータを惨事から復帰て	できるように、できるだけ早くプート可能イメージを作成してください。					
OK 終了						

[OK] をクリックすると [復旧情報の複製先] 画面が閉じるので、その後は [キャンセル] をクリックし、ブート キット ウィザードを終了します。

## 6.2.11 アーカイブビットの調整(任意)

差分/増分バックアップ運用を行っている場合、バックアップ後に各ファイルでアーカイブ ビットのクリアが行われ ますが、最新日付のバックアップ データはアーカイブ ビットが反映される前のファイルがバックアップされていま す。このため、惨事復旧でリストアしても、最新セッションのデータに関してはビットのクリアが行われていません。

惨事復旧処理でフルバックアップ セッションのみがリストアされている場合(増分運用の環境では、惨事復旧処 理に増分セッションが含まれる場合も含みます)、次回行われるバックアップの容量が多少増加します。

アーカイブ ビットを手動でクリアする場合は、attrib コマンドを実行します。(実行する場合は、データドライブのみ 実行します。)

Eドライブ全体にでアーカイブ属性を全てクリアする場合

🚾 管理者: コマンド プロンプト	
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]	
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.	
C:¥Users¥Administrator>e:	
E:¥>attrib -A /S /D	

この後は全リモートマシンの復旧後に後述 6.4 のステップで IP アドレスを変更したスケジュールの確認を行います。

# 6.3 ネットワーク上のマシン (リモート マシン) の復旧処理

リモートマシンの復旧はバックアップ サーバとほぼ同じ内容になりますが、ファイル システム デバイスや ARCserv デ ータベースなどの修正や復旧が不要なため、より簡単に復旧できます。

6.3.1 <u>復旧メディアからブート</u>

リモート マシンの CD/DVD ドライブに復旧メディアをセットし、Disaster Recovery Option の復旧メディアを使っ てマシンをブートします。

ハードディスクにシステムがすでに入っている場合は、"Press any key to boot from CD or DVD.."のメッセージが表示されるため、何かキーを押します。





ハードディスクにシステムが入っていないノードでは、このメッセージは表示されずに CD/DVD からシステムが自動起動します。

## 6.3.2 <u>言語の選択</u>

日本語を選択し、[次へ]をクリックします。

ARCENBACKUP	technologies
English 日本語	
キーボードのレイアウト: 日本語 v	
	Zo Ma

# 6.3.3 <u>ネットワークの設定</u>

画面左下に表示されている IP アドレスを確認し、復旧させたバックアップ サーバやリカバリ サイトの DATA DOMAIN と通信できない IP アドレスが設定されている場合は、手動で IP アドレスを指定します。

	UP	sile		technologies
CA ARCserve Backup Disaster Recovery (DR) - DR 情報を運訳する	-以下のオブションか ● 任意の場所から	ら 1 つ選択して DR 情報を DR 情報を選択する	指定してください	)
DR 情報記に元のシステムの緊急データが保存さ れました。DR 情報は、フロッピー ディスク、 USB メモリ、またはリモート共有フォルダから選 択することができます。	○ バックアップ サー/	∜/復日情報の複製先の □	)R 情報を選択す	đā v 🔿 🗊
ネットワーク、バックアップ サーバ、または複製先 から DR 情報を選択するには、リモート共有パ スまたはバックアップ サーバ名を入力して Enter キーを押します。リモート共有フォルダへのアクセ スには、ユーザ名とパスワードを入力する必要	指定した場所のリス  名前	かあ示されます 更新日時	OS	ブラット バックアップ サ
がある場合があります。 リモート共有フォルダの参照に失敗する場合、 NIC ドライバがインストールされていないこと、ま たは IP アドレスが正しくないことが原因である 場合があります。必要な場合、以下を実行で ぎます。	Program Files Program Files ProgramData Users Windows	2012/07/25 22:14:26 2012/07/25 22:14:26 2012/07/25 21:26:51 2012/07/25 22:14:25 2013/04/25 21:52:42		
Microsoft Hyper-V Network Adapter - IP アドレス: 169254 220 226 - フテーカフ・4家体:済み く 本の: - 本の: 本の:	L			
▲ ユーティリティ(U)				次へ(1) 中止(4)

(エ) ネットワークの設定

IP アドレスを指定するため、画面左下の [ユーティリティ] をクリックし、[ネットワークの設定] を選択します。

きます。		
ドライバのロード ユーティリティ	Ctrl+L	
ネットワークの設定	Ctrl+N	
iSCSI 環境設定	Ctrl+I	·
アクティビティ ログ	Ctrl+A	
トラブルシューティング	Ctrl+T	
実行	Win+R	
▲ ユーティリティ( <u>U</u> )		次へ(1) 中止(1)

(オ) IP アドレスの入力

バックアップ サーバやリカバリサイト内の DATA DOMAIN と通信可能な IP アドレスとサブネット マスクを入力し、[OK] をクリックします。

CA ARCserve Backup [		1の設定 🗾 🛃	
Recovery (DR) <i>- DR 情報を選択する</i>	ネットワーク アダプタを選択し、以下の設定を行		
DR 情報に元のシステムの緊急	🕕 Microsoft Hyper-V Network Adapter	✓ 更新(R)	
れました。 DR 情報は、 フロッピ USB メモリ、 またはリモート共有 択することができます。	○ IP アドレスを自動的に取得する ● 以下の IP アドレスを使用する:		
ナットローカードッカマップ サード	IP アドレス:	192 . 168 . 10 . 202	
から DR 情報を選択するには、	サブネット マスク:	255 . 255 . 255 . 0	
スまたはバックアップ サーバ名を キーを押します。リモート共有フ フ (=(tビタレパフロードを	デフォルト ゲートウェイ:	0.0.0.0	ダラット バックアップ サ
がある場合があります。	<ul> <li>DNS サーバ アドレスを自動的に取得する</li> <li>NJ エク DND サーバ アドレスを自動的に取得する</li> </ul>		
モート共有フォルダの参照にき NIC ドライバがインストールされ	● 以下の DNS サーバ・ 優先 DNS サーバ:	0.0.0.0	
たは IP アドレスが正しくないこと 場合があります。必要な場合、	代替 DNS サーバ:	· · ·	
きます。	接続状態		
	ステー 注度	タス: 接続済み : 4294 Mbps	
Microsoft Hyper-V Network		(の) たいわり(の) 済田(が)	

## 6.3.4 <u>復旧情報の参照</u>

バックアップサーバや複製設定したリカバリサイトの DATA DOMAIN にある惨事復旧情報にアクセスします。

(ア) バックアップ サーバの名前指定

[バックアップ サーバ/復旧情報の複製先の DR 情報を選択する]を選択し、バックアップ サーバのコンピュータ名を入力後、右矢印ボタンをクリックします。

	kup	technologies
CA ARCserve Backup Disaster Recovery (DR) - DR 情報を選択する	以下のオブションから 1 つ選択して DR 情報を指定してください ○ 任意の場所から DR 情報を選択する	
DR 情報紙に元のシステムの緊急データが保存されました。DR 情報紙、このツビー ディス久 いました。DR 情報紙、フロッビー ディス久 USB メモリ、またはリモート共有フォルダから選 択することができます。	<ul> <li>バックアップ サーババ复旧情報の複製先の DR 情報を選択する</li> <li>STRG14304</li> </ul>	
ネットワーク、バックアップ サーバ、または複製先 から DR 情報を選択するには、リモート共有パ スまだはバックアップ サード名を入力して Enter キーを押します。リモート共有フォルダへのアクセ スには、ユーザ名とパスワードを入力する必要 がある場合があります。	指定したバックアップ サーバ/複製先のリストが表示されます バックアップ サーバ バックアップ時間 OS	プラットフォーム
リモート共有フォルダの参照に失敗する場合、 NIC ドライバがインストールされていないこと、ま たは IP アドレスが正しくないことが原因である 場合があります。必要な場合、以下を実行で きます。		
まちにいち また/+ ヘル・・・・・+++・アビニ × 1 個のネットワーク アダプタが検出されまし ^		
Microsoft Hyper-V Network Adapter - IP アドレス: 192.168.10.202 - フテークフ: 接続:客み、 く ・		
▲ ユーティリティϢ	灰への	中止(A)

#### (イ) 復旧情報の選択

復旧対象マシンのコンピュータ名から、最新のバックアップ時間の復旧情報を選択し、[次へ] をクリックします。(DATA DOMAIN にある復旧情報が使用されます。)



同じコンピュータ名の情報が2つずつ表示されますが、バックアップサーバの復旧後に複製先 設定を修正したため、障害サイトから複製されていたリカバリサイト内の復旧情報も表示されます。 (上がバックアップサーバのローカルディスクにある復旧情報、下が複製先で指定したDATA DOMAIN にある復旧情報です。)

バックアップ時間が異なりますが、復旧情報はバックアップ後に作成されます。バックアップ サ ーバ内の復旧情報はバックアップ データから復元された情報のため、1 つ前の情報になります。

#### (ウ) DATA DOMAIN のアカウント指定

リカバリサイトの DATA DOMAIN の sysadmin アカウント情報を入力します。

	Wind	ows セキュリティ
ンク ¥4	の接続先用のユーザ名とパ) ∉192.168.10.232¥msd¥STRC	スワードを入力してください: à14305
	ユーザ名:	sysadmin
	パスワード	•••••
	ユーザ名の形式: <マシン名	→¥<ユーザ名>
		OK(O) キャンセル(C)

(エ) CLIENT AGENT サービスの確認

Client Agent サービスが開始されるとバックアップ サーバに接続されます。[次へ] をクリックします。

	UP	R. Le		technologies
CA ARCserve Backup Disaster Recovery (DR)	環境設定リスト	×		再スキャン(R)
JUJJA ( 7197	ステータス	環境設定	言羊糸田	
目的の DR 処理が問題なく実行されるよう、DR ウィザードでは現在の環境のチェックを支援します。		Client Agent サービス	サービスが正常に開始しました	
各項目をクリックすると説明が表示されま す。'caroot' パスワード、ASDE 認証情報などの 情報を指定する必要がある場合もあります。				
	<			>
	<u>ここをクリック</u> ま は、Ctrl + S キ	たは、Ctrl + U キーを押してクラ Fーを押してリモート サーバに接続	イアント エージェント サービスを再起動し 売します。	ます。 <u>ここをクリック</u> また
	クライアント エー	ージェントが正常に開始しました。	,	
	クライアントエー	ージェントは、バックアップ デバイス	いからデータをリストアするために使用される	る不可欠なサービスです。
▲ ユーティリティ( <u>U</u> )	1	戻る	B) 次へ(N)	中止(4)

6.3.5 バックアップ データからのリストア

リカバリサイトに複製された DATA DOMAIN の惨事復旧情報を使っているため、最新のバックアップ情報が表示されます。リストセッション リストを確認し、そのまま [次へ] をクリックします。

リストア対象	まセッシ	ョンる	も選択する				
ストア対象セッシ	リョンを追	観沢し	ます:				
ビッション番号			セッション名	セッションの種類	テープ名	ランダム ID	シーケンス番号
7 🔄 4	8?	Q	С	フル (アーカイブ ビ	DATA DOMAIN1	8A7E	1
Z 🔄 16	82	•	c	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
27	82		c	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
7 🟹 5	82	œ	E	フル (アーカイブ ビ	DATA DOMAIN1	8A7E	1
7 🙇 17	87	•	E	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
7 🟹 28	82		E	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
29 🟹 🖉	<mark>%</mark> ?	œ	システム状態	フル (アーカイブ ビ	DATA DOMAIN1	8A7E	1
5							

			セッション リス	トアのサマリ		×	
像セッシー 」	<u>አ</u> ፑወリストፖ	対象セッションが選折	だれました。 選択内容	容を確認し、[開始] をク	リックしてデータ回往	复を開始してください:	
ン番号 4	la bi bi	10.3.3.7 B			-> #'+ 70	2. L2 7.82 A	ーケンス
, I -	セッション	セッション名	セッションの	テーノ名	5094 IU	シーケンス番り	
	S 4	C	フル (アーカ	DATA DOMAIN1	8A7E	1	
	SS 16	C	<b>増</b> 分	DATA DOMAIN1	8A/E	1	
	Sec. 27	C F	増分	DATA DOMAINI	8A/E		
	S (0)	E	ノル (アニカ	DATA DOMAINI	8A/E		
	SS 17	E	增万	DATA DOMAINI	8A/E		
	SS 28		増万	DATA DOMAINI	8A/E	~	
	<					>	
				[	開始(S)	キャンセル(C)	

サマリ情報の画面が表示されます。そのまま [開始] をクリックします。

惨事復旧情報に入っているパーティション情報を使ってバックアップ サーバの区画が割り当てられます。フォーマット後に自動的にリストアに進みます。

リストア後に自動再起動をする場合は、そのまま処理が完了するのを待ちます。手動再起動をする場合は、画面下部にある[すべてのセッションが正常にリストアされたら自動的に再起動する]のチェックを外します。(このチェックはリストア中であればいつでも外せます。)

セッション番号	セッション名	セッションの種類	テーブ名	ランダム ID	シーケンス番号
si 4	С	フル (アーカイブ ビッ	DATA DOMAIN1	8A7E	1
🔄 16	С	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
27	С	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
5	E	フル (アーカイブ ビッ	DATA DOMAIN1	8A7E	1
l7	E	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
- 28	E	増分	DATA DOMAIN1	8A7E	1
リュームをフォーマ ] すべてのセッショ	ットしています。お待ちくださ 	5() 自動的に再起動する(T)			

#### 6.3.6 IP アドレスの変更

リストア完了後、起動してきた OS にログオンし、復旧したリモート マシンの IP アドレスをリカバリサイト用のアドレス に変更します。

DNS がある場合は、DNS にも登録しておきます。



## 6.3.7 アーカイブビットの調整(任意)

差分/増分バックアップ運用を行っている場合、バックアップ後に各ファイルでアーカイブ ビットのクリアが行われ ますが、最新日付のバックアップ データはアーカイブ ビットが反映される前のファイルがバックアップされていま す。このため、惨事復旧でリストアしても、最新セッションのデータに関してはビットのクリアが行われていません。

惨事復旧処理でフルバックアップ セッションのみがリストアされている場合(増分運用の環境では、惨事復旧処 理に増分セッションが含まれる場合も含みます)、次回行われるバックアップの容量が多少増加します。

アーカイブ ビットを手動でクリアする場合は、attrib コマンドを実行します。(実行する場合は、データドライブのみ 実行します。)



リモートマシンの復旧はこれで終わりになります。(リモートマシンが複数ある場合は、6.3のステップを繰り返します。)

## 6.4 全マシン復旧後の処理

復旧したマシンでリカバリ サイト用の IP アドレスを振り直した場合、登録済みのバックアップ スケジュールが動くか確認 します。

6.4.1 <u>プレフライト チェックによる確認</u>

プレフライトチェック機能を使い、何等かの原因でスケジュールの失敗があるか事前チェックを行います。

(ア) ジョブ ステータス マネージャの起動

プレフライト チェックはジョブ ステータスでチェックします。

ARCserve Backup のマネージャの右側にある [クイック スタート] から [ジョブ ステータス マネージャ] を クリックします。

<b>.</b> C	A ARCserve Backup - [木ーム]		<u>_8×</u>				
1	アィル(F) クイックスタート(Q) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)						
<b>&gt;&gt;</b>	🕒 🔾 💭 😂 🥵						
ナビゲーシ	ARC Serve BACKUP						
E	デフォルト サーバとセキュリティ	クイックスタート					
バー	ドメイン: STRG14304 デフォルト サーバ: STRG14304	<u>ジョブ ステータス マネージャ</u> ジョブのモニタとログのチェックを行います。					
Ľ	ユ−ザã: caroot 🎇	バックアップマネージャ バックアップジョブの設定とサブミットを行います。					
	デフォルトサーバまたはユーザ名の変更	アーカイブ マネージャ アーカイブ ジョブの設定とサブミナを行います。					

(イ) プレフライト チェックの実行

スケジュール ジョブを選択し、右クリック メニューから [プレフライト チェック] を選択します。

E Ci	A ARCserve Backup -	[ジョブ ステー	ቃス]											_ 8 ×
j 🛍 🛡	ファイル(F) クイック スタート(0	Q) 表示(V)	ジョブ スラ	テータス(J)	ウィンドウ(V	ທ ヘルプ(H)								_ & ×
» ナビ	STRG14304	• <mark>∛∍</mark> 7 •	∓-7 ⊘	DB Ø	<b>₩</b> 1-1	<i>》</i> 変更	で 再スケジュー…	( fi	<ul> <li>         ・</li> <li>         ・</li></ul>		前除	<mark>ご</mark> 更新	印刷	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
ゲー	⊟-  CA ARCserve Ba ⊟-  B STRG14304 (	ジョブ キュー	- V 9	ョブ履歴	> P051	צדר סא 🔉	監査ログ >							
ショ	🗍 🥶 STRG143	表示するジョ	ョブのステー	-タス:		💌 アクティブ(V)	✓ レディ(R)	F	🕶 ホールド(H) 🛛 🔽	ターゲッ	トの待機中(W)	☑ 処理済み		更新
5		ジョブ名 →		バックア	ップサ	ジョブ番号   ジョフ	『ID ステー	-92	実行時刻	3	ジョブの種類	前回の結果		処▲
15		智データベー	-ス保護ジ	∃7 STRG	4304	2	<u>1</u> 1	トールド	2013/08/09	11:	ドックアップ(ロ…	· ·		
Γî.		*  ナータベー	- 人院栄少:	∃7 STRG	4304	1 24	<b></b> l	バイ	2013/08/22	12:	テータベー人廃…	- ジ 元 ſ	_	
		■ パックアッ.	ノ レカスタム オ 「カスカ」	J. STRG 1 STRG	4304	3 ID 1		/テイ	ホールド(H)					
		□ 100070. ○ パックアット	プレコペラム プ [カスタム	1 STRG	4304	+ 6 19		/5 1 /ディ	ジョブの追加(A)					
		(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	プロスタム	.1. STRG	4304	14		ディ	ジョブの修正(M)					
		11.00アップ	プ [カスタム		4304	12	D i	ディ	次のフルバックアップ実	行日に川	アル フル バックア	アップを実行		
		🕙 バックアッ:	ን [ክスタム	] STRG	4304	17	🕩 ເ	ディ	ショノの冉スリンユニル 「即事行(11)	.0)				
		1 1 バックアッフ	ን [ክスタム	] STRG	4304	11 27	🌓 l	ディー	即合成					
		🔚 バックアッ:	プ しわスタム	] STRG	4304	8	🕩 ເ	ディー	ジョブの停止(S)					
		🔚 バックアッ:	プ しわスタム	] STRG	4304	19	D 1	ディー	ジョブの肖『除(D)					
		11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	ブレカスタム	J. STRG	4304	16		774	ユーザ名の変更…	-				
		■ 13ックアツ. ◎■ 13ッカマット	イロスタム	ј., SIRG 1. стра	14304	10 22		バイ	暗号化バスワードの変	更				_
		■/\ックアッ. ● パックアッ.	ノ レリスダム サ 「もうね」。	1 STRG	14304	10	1 L	/54 ディー	ガスダム クループの返す	ಲ ಸಂಗಾಹಚೂ				-
벞				u. onio					プレフライト チェック(F)	2 AV 2 62 1 97			1	. ►
「市」													E	

プレフライト チェックが失敗した場合は、[詳細]をクリックし、レポートを確認します。(成功した場合は、バックアップ サーバからリモート マシンへアクセスできるため、他のノードを選択しているスケジュールが無ければ処理完了になります。)

プレフライト チェック	×
プレフライト チェッ	りに失敗しました。
ОК	

リモート マシンで "不適格" と表示されている場合は、コンピュータ名やアカウント情報を変更していなければ、ネットワークか Client Agent のサービス中止が要因になります。

	後述 6.4.2 および	6.4.3 のステップ	で設定を確認します。
--	--------------	-------------	------------

/// pfc − メモ帳	_	
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)		
以下で実行します: 2013/08/22 3:44:26		1
CA ARCserve Backup エンジンが実行中です:	適格	
ジョブ 03ジョブ		
ジョブ コメント:		
ソース ノード: STRG14304 STRG14305		
デスティネーション: STRG14304		
エージェント チェック: STRG14304 STRG14305	適格 不適格	
問題: STRG14305 のクライアント エージェントへの接続に失敗しま STRG14305 のクライアント エージェントが実行中であること	こした。 こを確認してください。	
デスティネーション メディア チェック:	適格	
以下のジョブに問題がありました: ジョブ 03		
<u> </u>		

6.4.2 CLIENT AGENT のサービス稼働確認 (プレフライト チェック失敗時のみ)

プレフライト チェックで不適格となったリモート マシンで OS のサービス画面を開き、以下のサービスが稼働中となっているか確認します。停止している場合は起動します。

CA ARCserve Universal Agent

6.4.3 ネットワークの設定確認(プレフライト チェック失敗時のみ)

ネットワークはリモート マシンやバックアップ サーバの IP アドレスと DNS レコードを確認します。

- (ア) リモート マシンの IP アドレスの確認
   プレフライト チェックで不適格となったリモート マシンで IP アドレスを確認します。
- (イ) バックアップ サーバの IP アドレスの確認バックアップ サーバ側の IP アドレスも確認します。
- (ウ) バックアップ サーバの HOTS ファイルの確認

Hosts ファイルに障害発生サイトの IP アドレスが指定されていないか、確認します。

- (エ) DNS の確認 (DNS がある場合)
  - DNS レコードの確認
     リモート マシンおよびバックアップ サーバのレコードの IP アドレスを確認します。
  - ベックアップ サーバのキャッシュ クリア
     DNS のキャッシュが残っている可能性があるため、バックアップ サーバで ipconfig コマンドを実行し、
     flushdns でキャッシュをクリアします。





## 6.4.4 プレフライト チェックの再実行 (プレフライト チェック失敗時のみ)

サービスや IP アドレスの確認後、プレフライト チェックを再度実行し、成功を確認します。 異なるマシンをバックアップ対象データに含めているスケジュールがあれば、そちれもプレフライト チェックで確認しておきます。

プレフライト チェック	×	
プレフライト チェックに成功しました。		
OK I¥A		
<b>回 pfc - よモ帳</b> ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)		
以下で実行します: 2013/08/22 4:01:24		<u>^</u>
CA ARCserve Backup エンジンが実行中です:	適格	
ジョブ 03ジョブ		
ジョブ コメント: 「バックアップ [カスタム] フル DD1 「		
ソース ノード: STRG14304 STRG14305		
デスティネーション: STRG14304		
エージェント チェック: STRG14304 STRG14305	適格 適格	
デスティネーション メディア チェック:	適格	
×.		

以上でリカバリサイトでの惨事復旧はすべて終了になります。

# 7. 障害サイト復旧時の処理

障害発生サイトの復旧後、リカバリサイト側で運用しているサーバを元のサイトに戻します。(リカバリサイトでの運営で問題 ない場合、この章のステップは不要です。)

# 7.1 移行用の復旧データ作成

稼働中のリカバリサイトから移行するため、増分バックアップやフルバックアップなどを実施して移行直前状態のデータ を用意します。(本ガイドでは増分バックアップを実施します。)

7.1.1 サービス停止(全リモートマシン&バックアップサーバ)

バックアップ中やバックアップ後のデータ更新を防ぐため、バックアップ前に全リモート マシンおよびバックアップ サーバで Server サービスと各種アプリケーション サービスを停止します。(ARCserve Backup の関連サービス は停止しません。)

ファイル(F) 操作(A)	表示(V) ヘルブ(H)						
	i 📑 📔 📷 🕨 🔳 🕕 🕪						
🤍 サービス (ローカル)	😋 サービス (ローカル)						
	Server	名前 🔺	説明	状態	スタートアップの種類	ログオン	<b>•</b>
		Resultant Set of P	グルー		手動	Local S	
	サービスの開始	Routing and Remot	企業		無効	Local S	
		RPC Endpoint Map	トラン…	開始	自動	Network	
	説明:	Secondary Logon	別の		手動	Local S	
	このコンピューターでネットワークをとおしての	Secure Socket Tun	VPN		手動	Local S	
	サポートします。このサービスが停止した場	Security Accounts	このサ	開始	目動	Local S	
	合、これらの機能は利用できなくなります。	Server	203		自動	Local S	i 👘
	このサービスが便用不可にされた場合、この	Shell Hardware Det	目動	開始	目動	Local S	
	リーヒスに四方すりに1枚1子9つリーヒスは9へ。  て記動できなくなります。	Smart Card	このコ		手動	Local S	
		Smart Card Remov	ユーサー		手動	Local S	
		SNMP Trap	0一力		手動	Local S	
		Software Protection	Windo	開始	自動(遅延開始)	Network	
		Special Administrat	管理		手動	Local S	
		SPP Notification S	ソフト	開始	手動	Local S	
		SSDP Discovery	SSDP		無効	Local S	
		System Event Notif	システ	開始	自動	Local S	
		Task Scheduler	ユーザ	開始	自動	Local S	
		TCP/IP NetBIOS H	<u> ネット</u>	開始	目動	Local S	
		Carlephony	テレフ		手動	Network	
		Thread Ordering Se	特定		手動	Local S	
		Carter Services	システ		手動	Local S	
		🏩 UPnP Device Host	ວø⊒		無効	Local S	
		Service Service	このサ	開始	自動	Local S	
		🏩 Virtual Disk	ディス		手動	Local S	
		Shadow Co	バック		手動	Local S	-
	\ 扰陧 √ 搏進 /						



リモート マシンやバックアップ サーバで Server サービスを停止しても、ARCserve Backup と Client Agent は通信ができます。

## 7.1.2 増分バックアップの実施

ARCserve Backup のマネージャ画面を起動し、即実行の増分バックアップ ジョブを作成します。書込み先は 直近で使っているファイル システム デバイス側を指定し、メディアに追記します。

(ア) バックアップ マネージャの起動

ARCserve Backup のマネージャの右側にある [クイック スタート] から [バックアップ マネージャ] をクリックします。

(イ) スタート タブの設定

ファイル システム バックアップを利用するため、スタート タブはデフォルトの [標準バックアップ] のまま進めます。

(ウ) ソース タブの設定

Client Agent を展開し、復旧対象マシンを全選択(復旧対象のノード左側にある緑色のボックスをクリックして塗りつぶします)します。

📊 Ci	A ARCserve Backup – [	<b>ヽ</b> ゙ックアップ]		
<b>1</b>	ファイル(F) クイック スタート(Q)	表示(V) バックアップ	プ(B) ウィンドウ(W) ヘル	,⊅(H)
» ナビ	STRG14304	ÿ⊒7 <u>∓</u> −7 ⊘ ⊘	DB ② サブミット オブ:	<ul> <li>ブレーン フィルタ</li> <li>ブレーン フィルタ</li> <li>ブレーン フィルタ</li> </ul>
ゲーショ	スタート > ソース → グループ ビュー	スケジュール > 5 ▼ グループのカスタマ	デスティネーション > イズ(C) サーバ名(	N):
$ \mathcal{Y} $	🖃 🖾 📴 Client Agent	名前 △		種類
$J\bar{N}$	🗄 🖬 📑 STRG14304	( <b>)</b> 🔲 🖂 🖸 :		ボリューム
	E I III STRG14305	💶 🔳 🚍 E:	0	ボリューム
	Microsoft SQL S	er 🔲 📾 ジステム状態 Pc	2	

復旧対象マシンを部分選択する場合は、グローバルオプションの[拡張]タブで[一部だけ選択されたノードの復旧情報を作成する]をチェックしておきます。(フィルタの設定を行っている場合は、同じ[拡張]タブにある[リストアセッション情報の生成時にフィルタされたセッションを含める]にチェックをしておきます。)

(エ) スケジュール タブの設定

1回のみ実行するため、バックアップ方法を増分に変更します。

1 C	A ARCs	erve Backup	- レミックアップ	7]				
	ファイル(F)	クイック スター	-ト(Q) 表示(V	) バックアップ(B)	ウィンドウ(W)	ヘルプ(H)		
» ナビゲ	STRG14	4304	ya≠ ⊘	<del>7</del> −7 DI		オプション 1	Tring	表示
ーション	о л	スタム スケジュ・	- <i>I</i> V(©) (©	ローテーションス	₩ 232 7 ₩-7(B)	1		
ľ	繰	り返し方法( <u>E</u> )	1度だけ	<b>_</b>				
サ	_/ï»	ウアップ方式一						
小     		○ フル (アーカ ○ フル (アーカ ● 19分10	イブ ビットを維持 イブ ビットをクリア	)( <u>F)</u> )( <u>F)</u>				
-		○ 差分( <u>D</u> )						

(オ) デスティネーション タブの設定

直近のバックアップで利用されたファイル システム デバイスを選択します。(本ガイドでは2つ目のDATA DOMAIN2と仮定します。)

デバイス グループ: 左ペインから DD2 を選択 (メディア DATA DOMAIN2 もクリック)

macA ARCserve Backup - [パックアップ]
「ステイル(F) クイックスタート(Q) 表示(V) バックアップ(B) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
≫ → STRG14304 ▼ 297 〒-7 DB 00 日 サブネット オブション アイルタ 表示
$\begin{array}{c c} 2 & \chi_{2} + \gamma & \chi_{2} + \chi_{2}$
ジ □ マルチ ストリーシング① 最大ストリーム数 (日本) □ マルチブルキシング② タポイア(E): [DATA DOMAIN2 ジループ(G) [DD2 メディア(E): [DATA DOMAIN2

直近のバックアップで利用されたファイル システム デバイスは、ジョブ ステータスのジョブ ロ グやアクティビティ ログなどで確認できます。

(力) バックアップ ジョブのサブミット

画面上部にある [サブミット] ボタンをクリックし、スケジュール ジョブのサブミット(登録)作業を行います。

ジョブ実行時刻は即実行のまま進めます。(ジョブ名を変更は任意)

ョブのサブミット	?
「ジョブの言羊細(J)	
ジョブの種類	▲ ● 即実行(R)
パックアップ	○ 実行日時指定(N)
即実行ジョブ	2018/09/02 🔽
<u> ソースノード</u>	18:34:46
STRG14304(00.0.0) エージェント経由	□ ジョブをホールド状態でサブミット(B)
STRG14305(0.0.0.0) エージェント経由	ソース優先度(P)
デスティネーション ノード	【保存(S)
, ジョブ名(A):	テンプレートの保存(T)
バックアップ [カスタム] 増分: 終行用データ作成	プレフライト チェック(F)
OK(0) キャンセル(C)	

## 7.1.3 サーバをシャットダウン

バックアップ完了後、リカバリサイトで運営していた全サーバをシャットダウンします。(もしくはネットワークを無効 にします。)

## 7.2 元サイトへの復旧準備

7.2.1 復旧メディアの用意

Disaster Recovery Option の復旧メディアを準備します。(消失している場合は、リカバリサイトにある復旧メディアを複製し、あらかじめ元サイトに送付しておきます。)

復旧メディアに復旧先マシンのハードディスク系 (RAID など) のドライバやネットワーク ドライバが入っていないと 復旧処理を進められないため、この 2 つのドライバは用意しておきます。



Disaster Recovery の復旧メディアに該当のドライバが組み込まれている場合は、各ドライバを用意 する必要はありません。

## 7.2.2 元サイトへのバックアップデータ複製

(ア) 元サイトに複製用フォルダ作成

元サイトの DATA DOMAIN にアクセスし、backup フォルダの下に arcserve フォルダを作成します。

(イ) 複製の実行

ブラウザで DATA DOMAIN にアクセスし、Replication メニューにある [Create Pair] をクリックします。バッ クアップ先として利用しているリカバリサイトの複製先フォルダ (replica フォルダ) から、元のサイトにある DATA DOMAIN バックアップ先フォルダ (arcserve フォルダ) に向け Replication 設定を行います。

replica フォルダ内に MSD フォルダを作成していない場合は、MSD フォルダも複製します。

## 7.2.3 <u>複製設定の解除</u>

複製が完了したら、元サイトの DATA DOMAIN に複製されたバックアップ データを使って惨事復旧処理を実行 するため、DATA DOMAIN の Replication 設定を削除します。

ブラウザでリカバリサイトの DATA DOMAIN にログオンし、Replication メニューから replica フォルダと arcserve フォルダのペア設定にチェックを付けて、[Delete Pair] をクリックします。 MSD フォルダも個別に複製設定している場合は、MSD フォルダも複製を解除します。

## 7.2.4 <u>共有設定</u>

Data Management メニューから Shares タブをクリックし、 [Create] をクリックします。 複製を行った arcserve フォルダと、 arcserve フォルダ内にある MSD フォルダに共有を設定します。

DATA DOMAIN に作成した複数のファイル システム デバイスで ARCserve Backup の並列処理を実施する場合は、各ファイル システム デバイスのデータ格納先フォルダにも共有を設定します。

# 7.3 元サイトでバックアップ サーバの復旧処理

リカバリサイトで運用していたサーバを元サイトへ復旧するため、DATA DOMAINのIP アドレスやパスを元サイトの情報 に戻しながら進めます。(このステップの画面ショットは間違えやすいステップのみ掲載しています。)

7.3.1 復旧メディアからブート

CD/DVD ドライブに復旧メディアをセットし、Disaster Recovery Option の復旧メディアを使ってマシンをブートします。

7.3.2 <u>言語の選択</u>

日本語を選択し、[次へ]をクリックします。

## 7.3.3 <u>ネットワークの設定</u>

画面左下に表示されている IP アドレスを確認し、元サイトの DATA DOMAIN と通信できない IP アドレスが設定されている場合は、手動で IP アドレスを指定します。

	1			
Microsoft Hyper-V Network Adapter - IP アドレス: 169254.50.236 - 2テーク2・抹练客楽	>	·		
▲ ユーティリティ( <u>U</u> )			次へ(N)	中止④

IP アドレスを指定するため、画面左下の [ユーティリティ] をクリックし、[ネットワークの設定] を選択し、元サイト 内の DATA DOMAIN と通信可能な IP アドレスとサブネット マスクを指定します。

きます。				
ドライバのロードユーティリティ	Ctrl+L			
ネットワークの設定	Ctrl+N			
iSCSI 環境設定	Ctrl+I			
アクティビティ ログ	Ctrl+A			
トラブルシューティング	Ctrl+T			
実行	Win+R			
▲ ユーティリティ( <u>U</u>			次へ(N)	中止

## 7.3.4 <u>復旧情報の参照</u>

元サイトに複製された惨事復旧情報にアクセスします。

(ア) 元サイトの DATA DOMAIN のパス指定

[任意の場所から DR 情報を選択する] が選択された状態で、元サイトの DATA DOMAIN の惨事復旧用 フォルダ (<u>¥¥元サイトの DATA DOMAIN の IP アドレス¥msd</u>)を指定し、右矢印ボタンをクリックします。

	; KUP	technologies
CA ARCserve Backup Disaster Recovery (DR) - DR 情報を選択する	- 以下のオブションから 1 つ選択して DR 情報を指定してください ● 任意の場所から DR 情報を選択する	
DR 情報に元のシステムの緊急データが保存されました。DR 情報版に、フロッピー ディスク、	○ バックアップ サーババ割日情報の複製先の DR 情報を選択する	
USB メモリ、またはリモート共有フォルダから選 択することができます。	👪 ¥¥ 192.168.10.281¥msd	✓ ➡ 1

(イ) DATA DOMAIN のアカウント指定

DATA DOMAIN の sysadmin アカウント情報を入力します。

(ウ) 復旧マシン (バックアップ サーバ) フォルダの選択

バックアップサーバのコンピュータ名が付いたフォルダをダブルクリックで選択し、[次へ]をクリックします。

	UP				technologies
CA ARCserve Backup Disaster Recovery (DR) - DR 情報を選択する	- 以下のオブションから ④ 任意の場所から [	1 つ選択して DR 情報を DR 情報を選択する	指定してください		
DR 情報報に元のシステムの緊急データが保存さ れました。DR 情報献、フロッピーディスク、 USB メモリ、また(リモート共有フォルダから選 択することができます。	○ バックアップ サーバ 〕 〕 ¥¥192.168.10.2	/打目日情報の複製先の C 31¥msd¥	)R 情報を選択する	¥	
ネットワーク、バックアップ サーバ、または複製先 から DR 情報を選択するには、リモート共有パ コキカイド・ロップ サーバクチュートレス France	指定した場所のリスト	が表示されます			
スまたはハックアック リーハ名を入力して Enter キーを押します。リモート共有フォルダへのアクセ	名前	更新日時	OS	プラット	バックアップ サ
スには、ユーザ名とパスワードを入力する必要 がある場合があります。	DRPATCH.W2 DRPATCH.YP	2013/08/26 7:42:37 2013/08/26 7:42:37 2013/08/26 7:42:37			
リモート共有フォルダの参照に失敗する場合、 NIC ドライバがインストールされていないこと、ま たは IP アドレスが正しくないことが原因である	518 (1601) STRG 14304 STRG 14305	2013/08/26 7:42:37 2013/08/26 7:42:37	Windows Server 2008 Windows Server 2008	×64 ×64	STRG14304 STRG14304

## 7.3.5 レジストリ情報の編集

元サイトの DATA DOMAIN のバックアップ データにアクセスするため、テープ エンジン サービスの開始状態に 関係なく、レジストリを編集します。

				technologies
CA ARCserve Backup Disaster Recovery (DR)	環境設定リスト	:		再スキャン(R)
- JUJ741 7199	ステータス	環境設定	言羊糸田	
目的の DR 処理が問題なく実行されるよう、 DR ウィザードでは現在の環境のチェックを支援します。	8	ASDB 認証 Client Agent サービス	DR 処理を続行するには環境調 サービスが正常に開始しました	設定が必要です
各項目をクリックすると説明別が表示されま す。'caroot パスワード、ASDB 記証計情報などの 情報報告指定する必要がある場合もあります。		テーブ エンジン サービス	サービスが正常に開始しました	
	<			>
	<u>ここをクリック</u> ま	たは、Ctrl + M キーを押してテー	-ブ エンジン サービスを再起動します	t.
	テープ エンジン	が正常に起動しました。		
	テープ エンジン	サービスを使用してバックアップ:	データが処理されます。	
<u>▲ ユーティリティ(U)</u>		戻る(	B) 次へ(N)	中止④



リカバリサイトの DATA DOMAIN に接続できる場合、テープ エンジン サービスは開始できますが、 元サイトに複製したバックアップ データを使って復旧処理を行うため、レジストリ編集で元サイトのフ ァイル システム デバイスに変更します。

(ア) 実行メニューの起動

画面左下の [ユーティリティ] をクリックし、[実行] を選択します。

きます。			
ドライバのロード ユーティリティ	Ctrl+L		
ネットワークの設定	Ctrl+N		
iSCSI 環境設定	Ctrl+I		
アクティビティ ログ	Ctrl+A		
トラブルシューティング	Ctrl+T		
実行	Win+R		
▲ ユーティリティ <u>(U</u> )		次へ(N)	中1

(イ) レジストリエディタの起動

名前に regedit と入力し、[OK] をクリックします。

	実行		が、環境設定の必要	なリモート デバイスがありま	:व.
$\bigcirc$	プログラムの名前を入力します	ってバッ	クアップ データが処理	されます。	
名前:	regedit	¥			
	OK(0) キャンセル(0)	) 参照(B)			
▲ ユ-テ	ィリティሠ		戻る(B)	次へ(N)	中止④

(ウ) 1つ目のファイル システム デバイス該当キーへの移動

HKEY\_LOCAL\_MACHINE を展開し、更に以下のフォルダまで順次展開します。 SOFTWARE¥ComputerAssociates¥CA ARCserve Backup¥Base¥TapeEngine¥FSDSetup¥RM1

	2		
	レジストリエディター		Ca
	ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ヘルブ(H)		technologies
C.A	A HKEY_LOCAL_MACHINE A 名前 種類	データ	
Ře	Re HARDWARE . (既定) REG_SZ	(値の設定なし)	再スキャン(R)
-	- SAM	説明 1	
ΒÁ	Bá SECURITY BÍO REG_BINARY	52 54 00 01 00 00 00 0;	≣7∿ <del>/</del> d
ウィ	24 all SOFTWARE	FSD1	669
	BeviceType REG_DWORD	0x00002711 (10001)	
음지	용지	\\192.168.10.232\back	
す。 転去	9. a ComputerAssociates ab HostIP REG_SZ	192.168.10.232	
IH Ŧ	A 🔒 CA ARCserve Backup		
	a 🔑 Base		
	SNMP		
	a 👑 TapeEngine		>
	CHANGER_CFG		
	CONFIG		
	DEVICED		
	DEVICE2		
	⊳DR		
	FSDSetup		
	- RM1 -		
	< >	>	
	コンピューター、HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\ComputerAssociates\CA ARCserve Backup\B	ase\TapeEngine\FSDSet(	
			]
		Vize (an)	rb. F(a)
	- <u>エーディリティ()</u> 戻る(B)	<u>/(//(N)</u>	<u> </u>

(エ) ファイル システム デバイスのパス変更

RM1 の中にある DosDeviceName をダブルクリックし、リカバリサイトにあるファイル システム デバイスから 元サイトにあるファイル システム デバイスに値を変更します。

元サイト: 本ガイドでは、<u>¥¥元サイトの DATA DOMAIN の IP アドレス¥arcserve¥fsd1</u>

文字列の編集
値の名前(N):
DosDeviceName
値のデータ(V):
¥¥192.168.10.231¥arcserve¥fsd1¥
OK キャンセル

(オ) DATA DOMAIN の IP アドレス変更

同じく RM1 の中にある HostIP をダブルクリックし、リカバリサイトにある DATA DOMAIN から元サイトにある DATA DOMAIN の IP アドレスに変更します。

	文字列の編集		×
値の名前(N):			
HostIP			
値のデータ(V):			
192.168.10.231			
		ОК	キャンセル



(エ)の DosDeviceName と(オ)の HostIP は値を間違えると惨事復旧処理の途中でメディア マウン ト要求が表示され、処理が継続できなくなります。パスや IP アドレスが間違いないかよく確認します。

(カ) 2つ目のファイル システム デバイスの修正

RM1 の下にある RM2 フォルダに移動し、前述(エ)と(オ)のレジストリを元サイトにある 2 つ目のファイル シ ステム デバイスの情報に書き換えます。

DosDeviceName: <u>¥¥元サイトの DATA DOMAIN の IP アドレス¥arcserve¥fsd2</u> HostIP: 元サイトにある DATA DOMAIN の IP アドレス

他にもファイル システム デバイスがある場合は、同様に DosDeviceName と HostIP を書き換えます。

(キ) レジストリエディタの終了

編集内容を確認後、右上の×をクリックし、レジストリエディタを終了します。

7.3.6 テープ エンジン サービス再起動

編集したレジストリを有効にするため、Ctrl + M もしくは画面下部にある <u>ここをクリック</u> をクリックし、テープ エンジ ン サービスを再起動します。

ARCSONEBACK		alle.		technologies
CA ARCserve Backup Disaster Recovery (DR)	環境設定リスト	×.		再スキャン(R)
- 707541-7139	ステータス	環境設定	言羊糸田	
目的の DR 処理が問題なく実行されるよう、DR ウィザードでは現在の環境のチェックを支援します。		ASDB 認証 Client Agent サービス テープ エンジン サービス	DR 処理を続行するには環境設定 サービスが正常に開始しました サービスが正常に開始しました	が必要です
各項目をクリックすると説明が表示されま す。'caroot' パスワード、ASDB 認証情報などの 情報を指定する必要がある場合もあります。		)-) <u>199</u> 9-CA	3 - CAN'E MCHING DOOL	
	<			>
	ここをクリック	たは、Ctrl + M キーを押してテー	ーブ エンジン サービスを再起動します。	
	テープ エンジン	が正常に起動しました。		
	テープ エンジン	サービスを使用してバックアップ	データが処理されます。	
▲ ユーティリティ( <u>U</u> )		戻る	<u>(B)</u> 次へ(N)	中止④

元サイトの情報でテープ エンジン サービスが起動します。

[次へ]をクリックし、バックアップ データからのリストア ステップに進みます。

## 7.3.7 バックアップ データからのリストア

リストセッション リストを確認し、そのまま [次へ] をクリックします。

		セッション リス	トアのサマリ		×	
以下のリスト	ア対象セッションが選択さ	れました。選択内容	容を確認し、[開始] をク	リックしてデータ回往	夏を開始してください:	ーケンス者
セッション	セッション名	セッションの	テーブ名	ランダム ID	シーケンス番 ^	
Seg 1	C	フル (アーカ	DATA DOMAIN2	C7D1	1	
i 13	С	増分	DATA DOMAIN2	C7D1	1	
i 2 💽	E	フル (アーカ	DATA DOMAIN2	C7D1	1	
👒 14	E	増分	DATA DOMAIN2	C7D1	1	
ا 😹 😹	システム状態	フル (アーカ	DATA DOMAIN2	C7D1	1	
ا ا 🔊	SQL DR エレメント	フル	DATA DOMAIN2	C7D1	1 🧧	
<	29		DATA DOMAINS	0701	>	
				8854/03	100 June (0)	
			L	開始(8)	キャンセルロ	

サマリ情報の画面が表示されます。そのまま [開始] をクリックします。

惨事復旧情報に入っているパーティション情報を使ってバックアップ サーバの区画が割り当てられます。フォーマット後に自動的にリストアに進みます。

リストア後に自動再起動をする場合は、そのまま処理が完了するのを待ちます。手動再起動をする場合は、画面下部にある[すべてのセッションが正常にリストアされたら自動的に再起動する]のチェックを外します。(このチェックはリストア中であればいつでも外せます。)

I <b>RCserve Ba</b> ストア処理を原 ージにはデータ[	ackup Disaster Recover <i>見始する</i> 回復の)進捗状況が表示されま <sup>。</sup>	y (DR) इ.			
2ッション番号	セッション名	セッションの種類	テーブ名	ランダム ID	シーケンス番号
i 1	С	フル (アーカイブ ビッ	DATA DOMAIN2	C7D1	1
J 13	С	増分	DATA DOMAIN2	C7D1	1
2	E	フル (アーカイブ ビッ	DATA DOMAIN2	C7D1	1
<b>a</b> 14	E	増分	DATA DOMAIN2	C7D1	1
15	システム状態	フル (アーカイブ ビッ	DATA DOMAIN2	C7D1	1
l 11	SQL DR エレメント	フル	DATA DOMAIN2	C7D1	1
リュームをフォーマ すべてのセッシ:	マットしています。お待ちください. 	 助的に再起動する(T)			

## 7.3.8 <u>ARCSERVE データベースの回復処理</u>

リストア完了後、起動してきた OS にログオンするとデータベース回復ウィザードの画面が表示されます。 元サイトの IP アドレスに変更するため、データベース回復ウィザードは一旦キャンセルします。 (キャンセルしないと Windows のスタート メニューが表示されません。)

Cserve データベース サーバの Windows 認証           RCoseve データベースが配置だれているサーバ用の Windows 認証情報を指定します。この認証情報には うりがの管理者 確認能が必要でき。           ARCoseve データベースが配置されているサード           STRG14804           (ドメインがで方かントン(D):           レスマンベア加定           L Server Agent 認証モード           ROsever データベースに SQL Server 認証が必要な場合、(SQL Server 認証) をすったして必要なフィードに入ります。           の Windows 認証(W)           C SQL Server [認証S)           ログオン ID(L):           ノスワード(A):	ーカル管理者権限のある Windows アカウントを指定します。	
- つかの増生者権地が必要です。     AROserve データベースが配置されているサーバ STRG14804           〈ドメインメビアカウント/CD〉         ////////////////////////////////////	Cserve データベース サーバの Windows 認証 RCserv <u>e データベースが配置さ</u> れているサーバ用の Windows 認証性	輪報を指定します。この認証情報(ご)
(ドメインメイプカウント>(D):         (ドメインメイプカウント>(D):           パスワード(P):         (ドレード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ーカルの管理者権限が必要です。 ARCserve データベースが配置されているサーバ。	
/パスワード(P): L Server Agent 認証モード IRCserve デーがペースに SOL Server 認証が必要な場合、(SOL Server 認証) をオンにして必要なフィー NFCメフリします。 ・ Windows 認証KW) ・ SOL Server IZ証(S) ログオン ID(L) ノ(スワード(A).	<ドメイン>¥<アカウント>(D):	
L Server Agent 認証モード RCoarve データベースに SoL Server 認証が必要な場合、[SoL Server 認証] をオンにして必要なフィー ドに入力します。 © Windows 認証(W) © SoL Server 認証(S) ログオン ID(L) ノ(スワード(A).	パスワード(P):	
RCeerup データペースに SOL Server 認証が必要な場合、[SOL Server 認証] をオスして必要なスペー /RCスカします。 © Windows IZE(W) © SOL Server IZE(S) ログオン ID(L) /(スワード(A).	L Server Agent 認証モード	
<ul> <li>♥ Windows E2EE(W)</li> <li>♥ SOL Server i2EE(S)</li> <li>ログオン D(L):</li> <li>パスワード(A):</li> </ul>	RCserve データベースに SQL Server 認証が必要な場合、[SQL Se ドに入力します。	rver 認証] をオンにして必要なフィー
SOL Server 起これ(5)     ログオン D(L)     パスワード(A).     マスロウス しん	Windows IZEE(W)     O     Section     Section	
ログオン ID(L) ノ(スワード(A)	C SQL Server 認語(S)	
/120-K(A):	ログオン ID(L)	
	パスワード(A):	
27/SINES 5/2/		27A(N) \ \$24

ログオン後しばらくすると再起動要求が出る場合がありますが、復旧処理中のため、あとで再起動 を選択しておきます。

(ア) IP アドレスの変更

ネットワークの設定で復旧したバックアップ サーバの IP アドレスを元サイト用のアドレスに変更します。 DNS がある場合は、DNS にも登録しておきます。

(イ) データベース回復ウィザードの起動

OS のスタート メニューから [CA] – [CA ARCserve Backup] – [データベース回復ウィザード] と辿り、起動します。

(ウ) OS アカウントの指定

OS アカウントを指定し、[次へ] をクリックします。

(エ) CAROOT のパスワード指定

caroot のパスワードを指定し、[OK] をクリックします。

(オ) デバイス環境設定の起動

ファイル システム デバイスの情報が障害サイトの DATA DOMAIN になっているため、[デバイス環境設定] をクリックし、ファイル システム デバイスのパスとアカウント情報を変更します。

CA	CA ARCserve Backup データベース回復ウィザード						
גע	<b>トア ボイント</b> 以下のテーブルには、ARC: [その他の復日ポイント]を ポイントを取得できます。	serve データベ カリックすると、ノ	、ースで使用できる復 、ックアップ メディアを	旧ポイントが表示されていま スキャンしてその他の復日	त्र <b>ट्रि</b>	ogies	
	バックアップ時間	テープ名	シリアル番号	/バックアップ方式	バックアップ サーバ		
		DATA D		差分	STRG14304		
		DATA D		差分	STRG14304		
		DATA D		フル	STRG14304		
		DATA D		差分	STRG14304		
		DATA D		フル	STRG14304		
	•				F		
	<u>[] · []</u>						
	その他の復日ポイント(M	0    🗍	デバイス環境設定( <u>D</u>				
	し次へ」をクリックすると、選択	したセッションル	)ら ARCserve デー	タベース回復を開始します。			
				く 戻る(B) 次へ(	N)> キャンセル(Q		
			-			_	

[デバイス環境設定] 画面にて [ディスク ベース デバイス] を選択し、[次へ] をクリックします。

デバイス環境設定を操作するため、再度 ARCserve Backup の管理アカウント (caroot)を指定し、[次へ] をクリックします。

ログオン サーバの画面でそのまま [次へ] をクリックします。

(カ) ファイル システム デバイスのパス変更

2 つのファイル システム デバイスのパスをリカバリサイトから元サイトの DATA DOMAIN に変更します。 FSD1 および FSD2 の [データ ファイルの場所] をクリックし、パスを書き換えます。 各ファイル システム デバイスで共有を設定している場合は、それぞれの共有フォルダを指定します。

<u>¥¥リカバリサイトの DATA DOMAIN の IP アドレス¥backup¥replica¥fsd1</u>

<u>¥¥リカバリサイトの DATA DOMAIN の IP アドレス¥backup¥replica¥fsd2</u>

¥¥元サイトの DATA DOMAIN の IP アドレス¥arcserve¥fsd1 ¥¥元サイトの DATA DOMAIN の IP アドレス¥arcserve¥fsd2

L CA A	RCserve Backup データベース回復ウィザード		×
🌯 デバイス環境設定			×
<b>ディスク ベース デバイス</b> ディスクにバックアップす	<b>累境設定</b> るには、ディスク ベース デバイスの環境設定を実行し	てください。	technologies
ディスク ベース デバイス:		j追加(A)	削除(R) セキュリティ(S)
デバイス名 詳細	データファイルの場所	インデックス ファイル	グループ名 テープ名 ボリューム
			DD1
FSDI STUH	1 \$		DDI
- デデープUたーション。	2 ##192.108.10.281#arcserve#tsd2#		002
•			
		< 戻る(B) 次へ(N)	> 終7(X) ヘルブ

(キ) 元サイトの DATA DOMAIN のアカウント指定

FSD1 を選択した状態で、[セキュリティ] ボタンをクリックします。

[ドメイン] の項目を元サイトの DATA DOMAIN の IP アドレスに書き換えます。 同様に FSD2 を選択した状態で、 [セキュリティ] ボタンをクリックし、 [ドメイン] の項目を書き換えます。

セキュリティ		×	セキュリティ	×
ファイル システム デバイ	スのアクセス アカウントを指定します。		ファイル システム デバイスの	リアクセス アカウントを指定します。
🥅 AROserve システム アカウ	いたを使用(A) (デフォルト)		🔲 ARCserve システム アカウント	トを使用(A) (デフォルト)
ユーザ名(U):	sysadmin		ユーザ名(U): [	sysadmin
ドメイン(D):	192.168.10.232		F342(D):	192.168.10.231
パスワード(P):	****		パスワード(P):	****
パスワードの確認(N):	****		パスワードの確認(N): [	****
ОК	キャンセル		ОК	キャンセル

(ク) デバイス環境設定の終了

すべてのファイル システム デバイスで DATA DOMAIN の IP 編集後、[次へ] ボタンをクリックします。

その後、確認画面で [終了] ボタンをクリックします。

(ケ) バックアップ データ選択

リストにある復旧ポイントから、一番新しいバックアップ時間のデータを選択し、[次へ]をクリックします。(差分バックアップの場合は、関連するフルバックアップのデータも一緒に選択されます。)

いツクアツノ時間	テープ名	シリアル番号	/ バックアップ方式	バックアップ サーバ
2013-08-26 23:52:3	) DATA D		差分	STRG14304
2013-08-25 00:13:4	DATA D		フル	STRG14304
2013-08-22 04:29:1	B DATA D		差分	STRG14304
2013-08-22 01:37:5	6 DATA D		差分	STRG14304
2013-08-21 23:54:5	DATA D		差分	STRG14304
2013-08-18 23:55:3	B DATA D		差分	STRG14304
2013-08-18 00:18:2	DATA D		フル	STRG14304
2013-08-10 00:19:4:	B DATA D		差分	STRG14304
2013-08-09 23:49:3	DATA D		フル	STRG14304



デフォルトの ARCserve データベースを利用している場合、増分バックアップ未対応のデ ータベース形式で構成されているため、増分バックアップでスケジュールを作成しても ARCserve データベース部分では差分バックアップが代わりに実施されます。

(コ) 回復処理の完了

ARCserve データベースの回復処理が完了したら、[完了] ボタンをクリックします。

(サ) OS 再起動(OS ログオン後に再起動要求メッセージが表示された場合のみ)OS を再起動します。

#### 7.3.9 惨事復旧情報の複製先変更

惨事復旧情報の複製先をリカバリサイトの DATA DOMAIN から元サイトの DATA DOMAIN に変更します。

(ア) ブートキット ウィザードの起動

ARCserve Backup のマネージャの右側にある青いバーで [ユーティリティ] をクリックし、展開されたメニュ ーから [ブートキット ウィザード] をクリックします。

(イ) 複製設定の変更

画面起動後、左下にある [環境設定] ボタンをクリックします。

泰 ブートキット ウィザード		×
Disaster Recovery - ブートキット ウィザー	ドヘようこそ	technologies
CA ARCserve Backup ドメインおよび <sup>4</sup>	サーバ	
ドメイン名(D):	STRG14304	-
サーバ名:	STRG14304	-
ドメイン ユーザ名とパスワードを入力して	ください	
記想正の理業員(A):	CA ARCserve Backup ZE	-
ユーザ名(U):		=
パスワード(P):		-
□ 現在の Windows ユーザとし	ってログイン(L)	
1 この情報ではキサタのパイン 継続するには「たへ」をわりったします。		
121/29 OCCOC DX 13 2000000		
環境設定(O)		次へ(N) > キャンセル(C)

元サイトの DATA DOMAIN の情報と障害発生サイトから複製された惨事復旧用フォルダを指定し、[OK] をクリックします。

複製先サーバ名: 元サイトの DATA DOMAIN の IP アドレス Windows ドメイン: 元サイトの DATA DOMAIN の IP アドレス ユーザ名とパスワード: 元サイトの DATA DOMAIN の sysadmin アカウントとパスワード パス (共有名を含む): 本ガイドでは msd

復旧情報の複製先					
酇 フル バックアップ完了時に、そのサーノ	の復日に必要な情報が CA ARCserve Backup サーバに保存されます。				
この「割目情報を他の CA ARCserve Backup サーバに複製することで、そのサーバ上でも Disaster Recovery ブートキット を作成できます。情報を他のサーバに複製するには「割目情報の複製先」チェック ボックスをオンにし、以下の項目を入力して [OK] をクリックしてください。					
▼ 復旧情報の複製先(山)					
複製先サーバ名:	192168.10.231				
Windows ドメイン:	192.168.10.231				
ユーザ名:	sysadmin				
パスワード	yeyeyeyeyek				
パス (共有名を含む):	msd				
(例: C\$¥DRalternate または DRalternate (共有フォルダの場合))					
警告:コンピュータを診事から復帰できるように、できるだけ早くプート可能イメージを作成してください。					
	OK 終了				

[OK] をクリックすると [復旧情報の複製先] 画面が閉じるので、その後は [キャンセル] をクリックし、ブート キット ウィザードを終了します。

7.3.10 アーカイブビットの調整(任意)

移行用のバックアップで増分バックアップを実施した場合、増分で対象となったファイルのアーカイブビットは何も変更されていません。

増分バックアップを運用している環境で、次回行われるスケジュールに今回移行用で取得した増分対象データ を除外する場合(移行処理後に変更したファイルのみバックアップする場合)は、アーカイブビットを手動でクリア します。アーカイブビットの手動クリアは、データドライブのみ実行してください。

Eドライブ全体にでアーカイブ属性を全てクリアする場合

💽 管理者: コマンド プロンプト	
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]	<b>_</b>
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.	
C:¥Users¥Administrator>e:	
E:¥>attrib -A /S /D	

この後は全リモートマシンの復旧後に後述 7.5 のステップで IP アドレスを変更したスケジュールの確認を行います。

# 7.4 元サイトでネットワーク上のマシン (リモート マシン) の復旧処理

バックアップ サーバ復旧後、リモート マシンの惨事復旧を行います。(このステップの画面ショットは間違えやすいステップのみ掲載しています。)

## 7.4.1 復旧メディアからブート

リモート マシンの CD/DVD ドライブに復旧メディアをセットし、Disaster Recovery Option の復旧メディアを使っ てマシンをブートします。

7.4.2 言語の選択

日本語を選択し、[次へ]をクリックします。

## 7.4.3 ネットワークの設定

画面左下に表示されている IP アドレスを確認し、バックアップサーバや元サイトの DATA DOMAIN と通信できない IP アドレスが設定されている場合は、手動で IP アドレスを指定します。

1 個のネットワーク アダプタが検出されまし ^	1	
Microsoft Hyper-V Network Adapter - IP アドレス: 169 254 50 236 - フテーカフ: 接続溶み、 く >		
▲ ユーティリティ(U)		次へ(!) 中止(!)

IP アドレスを指定するため、画面左下の [ユーティリティ] をクリックし、[ネットワークの設定] を選択し、バックア ップ サーバや元サイト内の DATA DOMAIN と通信可能な IP アドレスとサブネット マスクを指定します。

きます	ŧ.	
	ドライバのロードユーティリティ	Ctrl+L
	ネットワークの設定	Ctrl+N
	iSCSI 環境設定	Ctrl+I
	アクティビティ ログ	Ctrl+A
	トラブルシューティング	Ctrl+T
	実行	Win+R
	ユーティリティ(リ)	

#### 7.4.4 <u>復旧情報の参照</u>

バックアップサーバやリカバリサイトから複製した元サイトのDATA DOMAINの惨事復旧情報にアクセスします。

(ア) バックアップ サーバの名前指定

[バックアップ サーバ/復旧情報の複製先の DR 情報を選択する]を選択し、バックアップ サーバのコンピュータ名を入力後、右矢印ボタンをクリックします。

ARCSONOBACK	technologies		
CA ARCserve Backup Disaster Recovery (DR) - DR 情報を選択する	以下のオブションから 1 つ選択して DR 情報を指定してください ○ 任意の場所から DR 情報を選択する		
DR 情報に元のシステムの緊急データが保存さ れました。 DR 情報は、フロッピー ディスク、 USB メモリ、またはリモート共有フォルダから選 択することができます。	<ul> <li>バックアップ サーババ気日情報の対象製先の DR 情報報を選択する</li> <li>STRG14304</li> </ul>		

(イ) 復旧情報の選択

復旧対象マシンのコンピュータ名から、最新のバックアップ時間の復旧情報を選択し、[次へ]をクリックします。(DATA DOMAIN にある復旧情報が使用されます。)

(ウ) DATA DOMAIN のアカウント指定

元サイトの DATA DOMAIN の sysadmin アカウント情報を入力します。

(エ) CLIENT AGENT サービスの確認

Client Agent サービスが開始されるとバックアップ サーバに接続されます。[次へ] をクリックします。

7.4.5 バックアップデータからのリストア

元サイトに複製した DATA DOMAIN の惨事復旧情報を使っているため、最新のバックアップ情報が表示されます。 リストセッション リストを確認し、そのまま [次へ] をクリックします。

サマリ情報の画面が表示されます。そのまま [開始] をクリックします。

リストア後に自動再起動をする場合は、そのまま処理が完了するのを待ちます。手動再起動をする場合は、画面下部にある [すべてのセッションが正常にリストアされたら自動的に再起動する] のチェックを外します。(この チェックはリストア中であればいつでも外せます。)

7.4.6 IP アドレスの変更

リストア完了後に OS にログオンし、復旧したリモート マシンの IP アドレスを元サイト用のアドレスに変更します。
DNS がある場合は、DNS にも登録しておきます。

7.4.7 アーカイブビットの調整(任意)

移行用のバックアップで増分バックアップを実施した場合、増分で対象となったファイルのアーカイブ ビットは何 も変更されていません。

増分バックアップを運用している環境で、次回行われるスケジュールに今回移行用で取得した増分対象データ を除外する場合(移行処理後に変更したファイルのみバックアップする場合)は、アーカイブビットを手動でクリア します。アーカイブビットの手動クリアは、データドライブのみ実行してください。

Eドライブ全体にでアーカイブ属性を全てクリアする場合

画管理者: コマンド プロンプト	
Microsoft Windows [Version 6.1.7601] Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.	<b>^</b>
C:¥Users¥Administrator>e:	
E:¥>attrib -A /S /D	

リモートマシンの復旧はこれで終わりになります。(リモートマシンが複数ある場合は、7.4のステップを繰り返します。)

## 7.5 元サイトで全マシン復旧後の処理

登録済みのバックアップスケジュールが動くか確認します。

- 7.5.1 <u>プレフライト チェックによる確認</u>
  - (ア) ジョブ ステータス マネージャの起動

ARCserve Backup のマネージャの右側にある [クイック スタート] から [ジョブ ステータス マネージャ] を クリックします。

(イ) プレフライト チェックの実行

スケジュール ジョブを選択し、右クリック メニューから [プレフライト チェック] を選択します。

	CA	ARCserve Backup -	[ジョブ ステー )) まテ()の	-タス] ジョブ フョ		ስ.አ. <b>አ</b> ስለለ	▲ 비크(H)								
ſ	» »		5a7		DB								2		^ 
i	さ	STRG14304	- 📀			<b>0</b> ⊷ド	変更	再スケジュー		停止 カスタム	3 	肖耶余	更新	印刷	×
1	ቻ 1	E-@ CA ARCserve Ba	ジョブ キュー		ョブ履歴 )	<ul> <li>アクティビ</li> </ul>	די מסיד	監査ログ >							
	と	STRG143	表示するジ				アクティブ(V)	🔽 レディ(R)		▼ ホールド(H)	💌 ५-५	デットの待機中(W)	🔽 処理済み		更新
	5		ジョブ名 △	、 コノワ=#2%。	<u> バックアッ</u>	<u> プサ   ジ</u>	ョブ番号   ジョフ	UD 27	-97 	(実行時刻)	00.11	<u>ジョブの種類</u>	前回の結果		処▲
,	$ \bar{N} $		<u>*</u> ] データへ・   <b>?</b> ] データべ・	ニム1末渡ン: ニス廃棄ジ;	ョブ STRG14 ョブ STRG14	304 2	24		ホールr レディ	2013/08/ 2013/08/	22 12:	データベース廃	<ol> <li>完了</li> </ol>		
	1		🔚 バックアッ	ヴ じわえタム	.] STRG14	304 3	16	Ĩ.	レディ	ホールド(H)					
			11 バックアッ   21 バックマッ	ヴ (カスタム ご (カフタル	] STRG14	304 4 304 6	10		レディー	ジョブの追加(A)					
			11/10/27/2	ブ (カスタム	] STRG14	304 14	1	l l	レディー	ジョブの修正(M)					
			11.0000	プ [カスタム	] STRG14	304 12	2		レディ	バリンル ハックアッン ジョブの再スケジュー	ノ実行日し <b>-ル(C)</b>		パリノを実行		
			*=  バックアッ   �=  バッカマッ	ブ しカスタム ご 「カスタム	J., STRG14 1 STRG14	304 17 1304 11	1 97		レテイ レディ	即実行(U)					
			11/10/07/0	プ しうえタム	] STRG14	304 8		i i i	レディ	即合成 ジョブの(停止(S)					
			※目バックアッ	ブ じわスタム	] STRG14	304 19	9		レディ	ジョブの肖『除(D)					
			1 11ックアッ (型)バックアッ	ワ けんタム げ けっえなん	.J., STRG14 1 STRG14	1304 16 1304 16	i 1 22		レテイ レディ	ユーザ名の変更 暗号(ヒパフロード/	の恋面				
			15ックアッ	ブ じカスタム	] STRG14	304 15	5	i i i	レディ	カスタム グループの	<b>変更</b>				
-	+		11 パックアッ	ブ じわえタム	] STRG14	304 13	3		レディ	ガループドゥームの	ジョゴの夜 'E)	術			
7	t:									707715 71990	.F7				

プレフライト チェックが失敗した場合は、ダイアログ画面で [詳細] をクリックし、どの失敗となっているノードを確認します。

7.5.2 CLIENT AGENT のサービス稼働確認 (プレフライト チェック失敗時のみ)

プレフライト チェックで不適格となったリモート マシンで OS のサービス画面を開き、以下のサービスが稼働中となっているか確認します。停止している場合は起動します。

CA ARCserve Universal Agent

7.5.3 ネットワークの設定確認(プレフライト チェック失敗時のみ)

ネットワークはリモート マシンやバックアップ サーバの IP アドレスと DNS レコードを確認します。

(ア) リモート マシンの IP アドレスの確認

プレフライト チェックで不適格となったリモート マシンで ℙ アドレスを確認します。

- (イ) バックアップ サーバの IP アドレスの確認
   バックアップ サーバ側の IP アドレスも確認します。
- (ウ) バックアップ サーバの HOTS ファイルの確認

Hosts ファイルにリカバリサイトの IP アドレスが指定されていないか、確認します。

- (エ) DNS の確認 (DNS がある場合)
  - DNS レコードの確認

リモート マシンおよびバックアップ サーバのレコードの IP アドレスを確認します。

② バックアップ サーバのキャッシュ クリア

DNS のキャッシュが残っている可能性があるため、バックアップ サーバで ipconfig コマンドを実行し、 flushdns でキャッシュをクリアします。



DNS を使っていない環境で、リモート マシンやバックアップ サーバに正しい IP アドレスを入れていても通信ができない場合は、nbtstat -R コマンドをバックアップ サーバで実行してください。

7.5.4 プレフライトチェックの再実行 (プレフライトチェック失敗時のみ)

サービスや IP アドレスの確認後、プレフライト チェックを再度実行し、成功を確認します。

以上でリカバリサイトでの惨事復旧はすべて終了になります。

# 7.6 DATA DOMAIN の複製処理

マシン復旧後に実施するバックアップスケジュールのデータをリカバリサイトの DATA DOMAIN に複製するため、元サイトからリカバリサイトに複製を設定します。

ブラウザ DATA DOMAIN にアクセスし、Replication メニューにある [Create Pair] をクリックします。共有を設定した元 サイトの arcserve フォルダからリカバリサイトの replica フォルダに向け、Replication 設定を行います。arcserve フォル ダの外に MSD フォルダ (Disaster Recovery Option の惨事復旧情報のコピー先フォルダ) を作成する場合は、MSD フォルダでも複製を設定します。

# 8. 品情報と無償トレーニング情報

製品のカタログや FAQ などの製品情報や、動作要件や注意事項などのサポート情報については、ウェブサイトより確認してください。

### 8.1 製品情報

#### 製品情報

http://www.arcserve.com/jp/backup.aspx

ARCserve Backup  $\sigma$  FAQ

http://www.arcserve.com/jp/products/ca-arcserve-backup/faq.aspx

#### サポート情報、動作要件、およびマニュアルなど

http://www.casupport.jp/resources/bab165win/

#### 8.2 トレーニング情報

8.2.1 <u>無償トレーニング</u>

半日で機能を速習する ARCserve シリーズの無償ハンズオン(実機)トレーニングを毎月実施しています。どなた様でも参加いただけますので、この機会にご活用ください。(競業他社の方はご遠慮いただいております。)

http://www.ca.com/jp/events/seminars.aspx

8.2.2 <u>セルフトレーニング</u>

ウェブで気軽に ARCserve Backup の画面を操作できるセルフトレーニングも用意しています。 色々なコンテン ツがアップロードされていますが、タイトルにセルフトレーニングと記載のあるコンテンツにアクセスしてください。

http://www.arcserve.com/jp/products/online-demo.aspx#backup